

各協議会の取組状況について

減災対策協議会 取組状況

十勝川流域外河川の減災に関する取組方針

令和3年7月5日

十勝川外減災対策協議会

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、
芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、
豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、十勝総合振興局、
釧路地方気象台、帯広開発建設部、北海道警察釧路方面本部、
帯広警察署、池田警察署、本別警察署、新得警察署、広尾警察署、
陸上自衛隊第5旅団、とかち広域消防局、
日本放送協会帯広放送局、北海道旅客鉄道株式会社釧路支社、
北海道電力株式会社新得水力センター、
電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所

(参考)

修正履歴		
区分	年月日	備考
策定	令和 3 年 7 月 5 日	
修正	令和 5 年 2 月 28 日	一部組織等修正
修正	令和 6 年 3 月 25 日	目標取組期間数修正

1. はじめに

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流失や広範囲かつ長期間の浸水が発生した。これらに住民の避難の遅れも加わり、近年の水害では例を見ないほどの多数の孤立者が発生する事態となった。

今後、気候変動の影響により、このような施設の能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが懸念されている。

一方、十勝川水系においても、平成 23 年に音更川で堤防の一部が流出し、沿川住民に避難勧告等が発令された。

また、平成 28 年 8 月 17 日から 23 日の一週間の間に台風第 7 号、第 11 号、第 9 号が相次いで北海道に上陸し、足寄町では足寄川からの越水により氾濫が生じる等、十勝管内の随所で浸水被害があった。

さらに、8 月 29 日から前線を伴った降雨と台風第 10 号の接近により、国管理の十勝川水系全 21 基準観測所のうち、12 箇所で観測史上最も高い水位となり、札内川、音更川では直轄区間堤防の決壊、清水町のペケレベツ川、新得町のパンケ新得川などでは、橋梁の被災による鉄道、道路網の途絶や農地等への甚大な被害が発生した。

このような災害を繰り返さないために、十勝川の沿川市町村と十勝総合振興局、釧路地方気象台、帯広開発建設部は、「水防災意識社会 再構築ビジョン」を踏まえ、平成 28 年 6 月 9 日に「十勝川減災対策協議会」（以下「本協議会」という。）を設立した。

その後、平成 29 年度の水防法改正を踏まえ、本協議会を水防法に基づいて組織された協議会に位置付けるとともに、北海道が管轄する河川の沿川町村、自衛隊、警察、消防、放送局、鉄道、電力等の関係団体を加え、「十勝川外減災対策協議会」と改称した。

本協議会では、「施設では守り切れない大洪水は必ず発生する」との考えに立ち、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するため、十勝川流域で想定される最大規模の洪水に対して「主体的な避難行動の促進」、「社会経済被害の最小化」を目標とし、平成 32 年度（令和 2 年度）までに行う減災の取組方針に基づき、各機関が施策に取り組んできたが、今回、令和 7 年度までの概ね 5 年間における取組方針をとりまとめ、引き続き取り組みを継続することとする。

引き続き、本協議会の各構成員は、本取組方針に基づき連携して減災対策に取り組み、毎年、協議会を開催し、進捗状況を定期的に確認するなどフォローアップを行うこととする。

本取組方針は本協議会規約第 3 条第 2 項に基づきとりまとめたものである。

2. 協議会の構成員

協議会の参加機関及び構成員は、以下の通りである。

参加機関	構成員
帯広市	市長
音更町	町長
土幌町	町長
上土幌町	町長
鹿追町	町長
新得町	町長
清水町	町長
芽室町	町長
中札内村	村長
更別村	村長
大樹町	町長
広尾町	町長
池田町	町長
幕別町	町長
豊頃町	町長
本別町	町長
足寄町	町長
陸別町	町長
浦幌町	町長
十勝総合振興局	局長（副会長）
十勝総合振興局	副局長
釧路地方気象台	台長
帯広開発建設部	部長（会長）
北海道警察釧路方面本部	警備課長
帯広警察署	署長
池田警察署	署長
本別警察署	署長
新得警察署	署長
広尾警察署	署長
陸上自衛隊第5旅団	司令部第3部長
とかち広域消防局	局長
日本放送協会帯広放送局	局長
北海道旅客鉄道株式会社釧路支社	支社長
北海道電力株式会社新得水力センター	所長
電源開発株式会社東日本支店上土幌電力所	所長

3. 対象とする河川

対対象とする河川は、以下の通りである。

機関名	対象河川名	関係市町村
帯広開発建設部	十勝川水系十勝川、音更川、札内川、利別川、浦幌十勝川、浦幌川、下頃辺川、戸蔦別川、然別川、帯広川、士幌川、途別川、猿別川、礼文内川、牛首別川、久保川、礼作別川、三線川、本別川、美里別川、売買川、美生川、十日川、十弗川、浦幌十勝導水路	帯広市、音更町、士幌町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、浦幌町
十勝総合振興局	十勝川水系十勝川、カカビラ川、カカン川、浦幌川、十勝静内川、ハートン川、常室川、瀬多来川、仁生川、川流布川、浦幌わ社イ川、旧ハートン川、上旅来川、安骨川、背負川、背負分線川、下牛首別川、礼文内川、旧利別川、コノ川、牛首別川、農野牛川、上農野牛川、久保川、造林沢川、山蔭川、小川、育素多川、礼作別川、打内川、利別川、十弗川、アハツ川、清見二線川、オツツ川、四線川、七線川、北九線川、十日川、小村川、高島十五線川、パンク川、ペンク川、三線川、跡見川、親牛別川、居辺川、ワッカネツ川、押帯川、美蘭別川、蘭辺川、和ナイ川、本別川、モツ川、美里別川、芽登川、イシ川、旭ヶ丘川、キウシ川、オナイ川、ヌカン川、ヌカン一号沢川、和ヒリベツ川、下和ヒリベツ川、ヒリベツ一号沢川、パンク仙美里川、ペンク仙美里川、足寄川、稲牛川、螺湾川、茂螺湾川、茂足寄川、佐野川、下ワツツ川、上ワツツ川、塩幌川、ペンクトブシ川、大誉地川、ペンクンベツ川、斗満川、ホントム川、陸別川、清水川、宇遠別川、勲禰別川、陸別熊の沢川、上統内川、新川、明新	帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

	川、猿別川、旧途別川、稲士別川、須田川、茂発谷川、恩根内川、糠内川、牧場川、サラベツ川、サツナルベツ川、イラタキ川、新オシツ川、途別川、千住川、古舞川、ム川、土幌川、長流枝内川、伊忽保川、サクシオルベツ川、共成川、北開川、札内川、売買川、機関庫の川、第二売買川、売買川分水路、ヌツク川、ナホ川、戸蔦別川、岩内川、南岩内川、北岩内二の沢川、ウエダ川、牝リネツ川、ピリカヌ沢川、恵津美川、ヌナイ川、帯広川、旧帯広川、ウツベツ川、柏林台川、第二柏林台川、イナイ川、新帯広川、雄馬別川、音更川、鈴蘭川、第二鈴蘭川、エント川、ウツ川、ナタイ川、糠平川、幌加川、滝の沢川、幽雲川、伏古別川、伏古川、然別川、鎮鍊川、ハギノ川、万年川、パンケチン川、ホンパンケチン川、ペンケチン川、瓜幕川、パンケバウシ川、上ホナイ川、オウシ川、シイカリベツ川、シブサビバウシ川、西土狩川、美蔓川、美生川、ニナイ川、トマ川、ピパノ川、奥の沢川、美馬牛川、ピウ川、吉井川、芽室川、御影川、洪山川、パンケホナイ川、久山川、イノ川、豊郷川、林オツ川、佐幌川、小林川、ヘケレベツ川、ナイ川、金平川、イシマクシベツ川、パンケオツイ川、ペンケオツイ川、広内川、パンケ新得川、九号川、清水ビバウシ川、パンケニコ川、ペンケニコ川、ペンケナイ川、オウシ川、ピシチナイ川、ニベツ川、トムラウシ川、ホントムラウシ川、ユトムラウシ川、カムイサナナイ川、ヌフントムラウシ川、東沢川、トノカリウシベツ川、オグチシ川、タヤ川	
十勝総合振興局	厚内川水系厚内川	浦幌町
十勝総合振興局	長節川水系長節川	豊頃町
十勝総合振興局	湧洞川水系湧洞川	豊頃町
十勝総合振興局	生花苗川水系生花苗川、キモントウ川、一の沢川	大樹町

十勝総合振興局	当縁川水系当縁川、忠類幌内川	大樹町、幕別町
十勝総合振興局	歴舟川水系歴舟川、振別川、東川、歴舟中の川、ヌビナイ川	大樹町
十勝総合振興局	紋別川水系紋別川	大樹町、広尾町
十勝総合振興局	豊似川水系豊似川	広尾町
十勝総合振興局	楽古川水系楽古川	広尾町
十勝総合振興局	広尾川水系広尾川、西広尾川	広尾町
十勝総合振興局	直別川水系直別川	浦幌町

4. 十勝川の概要

■地形的特徴

十勝川は流域の形状が扇状で、流域内の支川が集中して十勝川に合流する特徴がある。特に音更川・札内川が合流する帯広圏は洪水が集まりやすく、堤防が決壊した場合、都市機能等へ甚大な被害が発生する可能性がある。

十勝川上流部、音更川、札内川は、勾配が急であり洪水時には高速な流れが発生するおそれがあることから、洪水時には河岸の侵食や洗掘等が発生し、水位が低くても被害が発生する可能性がある。

十勝川下流域は、河川の高い水位が長時間続くことから、内水氾濫による浸水発生頻度が高く、氾濫により農地などの低平地のほとんどが浸水し、かつ浸水継続時間が長期に及ぶ。

■過去の水害状況

大正8年から13年にかけて洪水が頻発し、中でも大正11年8月洪水では、西帯広から大津にかけての河川沿いの平地が一面にわたって浸水するなどの大被害を受けた。この洪水を契機に治水計画を策定し本格的な治水事業に着手した。

昭和37年8月洪水は、台風第9号により上流域を中心に流域全体で強い降雨があったことから発生した。当時は堤防の整備が進んでいなかったことから、流域全体で外水被害が発生し、特に中下流域で甚大な被害となった。流域全体の氾濫面積は40,768ha、被害家屋は3,793戸であった。

昭和47年9月洪水は、台風第20号による大雨で、各地で河川の決壊、道路・鉄道の寸断が多発した。なかでもJR根室本線は10日間以上不通となり、十勝地方の物流に大きな影響を与えた。

昭和56年8月洪水は、台風第12号と停滞前線の活発化により、上流域で記録的な強い降雨があったことから発生した。十勝川等は堤防の整備が進んでいたことから、上流部の支川を中心に浸水被害が発生した。流域全体の氾濫面積は7,017ha、被害家屋は355戸であった。また、堤防の整備が進んだことに伴い内水被害が発生し、氾濫面積のうち4,673haが内水氾濫によるものであった。

昭和63年11月洪水は、発達した低気圧により下流域を中心に強い降雨があったことから発生した。十勝川下流域を中心に浸水被害が発生し、特に浦幌十勝川流域で大きな浸水被害が発生した。流域全体の氾濫面積は366ha、被害家屋は279戸であった。

平成23年9月洪水は、台風第12号や熱帯低気圧周辺の暖湿気が北日本へ流入し、前線の活動を活発化し、ぬかびら源泉郷雨量観測所における9月1日から7日にかけての総雨量は、432.5mmが記録された。音更川の堤防の一部が流出し、沿川住民に避難勧告等が発令された。

平成28年8月洪水は、17日から23日にかけて台風第7号、第11号、第9号が北海道に上陸し、ぬかびら源泉郷雨量観測所における17日から23日にかけての総雨量は480.5mmが記録されたほか、管内の多くの雨量観測所で8月の降水量が観測開始からの

最大値を大きく更新した。足寄町では、足寄川の越流による氾濫が発生し、被害家屋は延べ 61 戸であった。

さらに、1 週間後の 8 月 29 日から前線に伴う降雨と台風第 10 号の接近により、札内川ダム雨量観測所における 30 日から 31 日にかけての総雨量は 507mm が記録され、直轄区間の 12 箇所の水位観測所において既往最高水位が記録された。札内川、音更川では直轄区間の堤防が決壊、札内川では氾濫により約 50ha が浸水した。新得町のパンケ新得川に架かる JR 根室本線の鉄道橋が被災を受け 3 ヶ月以上不通となり道東の物流に大きな影響を与えた。清水町では、全半壊家屋 14 戸、橋梁被害 7 箇所、浸水面積 150ha、芽室町では町内を流れる芽室川の堤防決壊などにより、床上浸水 47 戸、浸水面積 250ha、新得町では家屋半壊 7 戸、家屋流出 2 戸という非常に大きな被害が発生した。また、国道・道道の通行止めや JR 根室本線の不通が相次いだほか、芽室町を流れる芽室川の増水により缶詰工場が被災を受け操業停止となり、原材料の生産者や全国の消費者へ影響を与えた。流域全体の被害家屋は 447 戸であった。

■河川改修等の状況

- ・ 本格的な治水事業は、大正11年8月洪水を契機として実施。
- ・ 翌大正12年に、第1期拓殖計画の一環として治水計画を決定し、築堤、新水路掘削、護岸工事等に着手。
- ・ 昭和2年からは第2期拓殖計画等により、昭和12年に通水した統内新水路、売買川・牛首別川等の支川切替を実施。
- ・ その後、昭和57年に浦幌十勝川の河口閉塞対策を目的として浦幌十勝導水路を完成させたことに伴い、浦幌十勝川を十勝川水系に編入。
- ・ 昭和59年に十勝ダム、平成10年に木野引堤事業、平成11年に札内川ダム、平成19年に千代田新水路事業、平成26年には下流の軟弱地盤地帯における堤防の安定性を高める緩傾斜の堤防（丘陵堤）整備を完成させた。現在は、平成22年9月に策定された「十勝川水系河川整備計画※」に基づき、堤防整備、河道掘削、護岸工事、内水対策等を進めている。
- ・ 十勝川本川の整備に合わせるように、北海道管理河川においても、河川の改修による整備を進めており、現在は十勝川水系の河川については、管内を 3 区域に分割し、平成24年2月に策定された十勝川右岸圏域河川整備計画、十勝川左岸圏域河川整備計画、十勝川上流圏域河川整備計画（策定中）に基づき、河道掘削、護岸工事等を進めている。
- ・ また、平成28年8月洪水で大きな被害を受けた美生川は平成30年度ピウカ川は令和元年度旧途別川、サラベツ川は令和2年度より改修事業に、佐幌川においては、ダム再生事業に着手しているほか、日高山脈東麓では、土砂・洪水氾濫対策のため砂防事業に着手している。

※十勝川水系河川整備計画は平成25年6月に一部変更

■十勝川流域の社会経済等の状況

十勝川流域は、帯広市をはじめとする1市14町2村からなり、その市町村人口は約33万

人である（平成22年国勢調査）。帯広市は、広大な十勝平野のほぼ中央に位置し、道東地域の社会・経済・文化の拠点となっている。帯広市を中心とした帯広圏は、近年、十勝川、音更川、札内川と平行する国道沿いに市街地が拡大している。また、帯広市周辺に広がる十勝平野では、小麦、甜菜、馬鈴薯、小豆、いんげん等の畑作、酪農・畜産を中心とした大規模な農業が営まれ、さらにこれらを加工する食料品製造業が盛んであり、国内有数の食料供給地となっている。また、十勝川下流域、利別川流域及び浦幌十勝川流域を中心に林業が盛んな地域が広がっている。

十勝川流域には、JR根室本線、国道38号、236号、241号、242号、273号、274号に加え、現在、北海道横断自動車道（道東自動車道）や帯広・広尾自動車道等が整備されている。また、流域には十勝地域の空の玄関口であるとかち帯広空港や、流域の近郊には物流の拠点である十勝港がある。このように、十勝川流域には、道東地域と国内各地及び道内各地を結ぶ主要交通網が集まっている。

■十勝川流域の主な課題

【市町村が抱える主な課題】

- 長期間にわたり氾濫が無かったことから、住民のほとんどが基本的に水害は発生しないことを前提とした意識であった。平成28年8月洪水では氾濫の危険性が高まり避難勧告を出したが、避難率が低かったことから、避難率を上げるための方策が必要。
- 平成28年8月洪水では真夜中に避難勧告等の発令を行ったため、住民への情報提供が不十分であり、伝わっていないことが分かった。また、夜間の避難行動も住民に危険が及ぶ結果となった。避難勧告等の発令判断基準の見直しや確実な情報提供手法の検討が必要。
- 中小河川においては水位計が設置されていない河川があり、避難勧告等の判断基準となる情報の収集が困難であったことから、水位等把握手段の検討が必要。
- 高齢者が多くなっている現状を踏まえると、自主避難自体が困難となっており、自主防災組織の創設に加え、高齢者のことも考慮した避難体制の構築や、個別避難計画の策定を推進していくなど、人命をいかに守るかといった検討が必要。
- 避難勧告等の発令判断の基準となる上流部にある利水ダムからの放流による水位上昇量、到達時間等について、予測シミュレーションを行うことができないことから、ダム放流による水位予測システムの改良及び下流自治体への情報共有体制の構築が必要。
- 下流域に位置する自治体では、河川の高い水位が長時間続くことにより、内水が排除できずに畑が何日も冠水してしまうため、農作物が収穫できず、市場への影響が懸念されることから、内水排除の効率化に向けた検討が必要。

【浸水時の社会的影響に関する主な課題】

- 洪水浸水想定区域内に災害対応を実施する公的機関の庁舎等が点在していることから、浸水時に各機関の機能喪失に伴う防災力の低下が懸念される。

(洪水浸水想定区域内の公的施設)

帯広開発建設部、帯広河川事務所、池田河川事務所、十勝総合振興局、帯広測候所、帯広市役所、音更町役場、池田町役場、本別町役場、足寄町役場、中札内村役場、新得町役場、帯広消防署、帯広警察署、音更消防署、新得消防署、新得警察署、池田消防署、池田警察署、豊頃消防署、本別警察署、足寄交番

- 帯広都市圏の主要な病院が浸水想定区域内にあることから、浸水時には病院機能の低下や入院患者等の搬出経路確保が困難となる。
- 洪水浸水想定区域内に変電所が多く設置されており、浸水により周辺への電力供給が停止するおそれがあり、復旧活動への影響や避難所等での生活に支障を及ぼす可能性がある。
- 十勝川の洪水浸水想定区域内にある一般廃棄物中間処理施設は、十勝管内の 15 市町村（帯広市・音更町・鹿追町・新得町・清水町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃町・本別町・足寄町・陸別町・浦幌町）が収集したごみ（一般廃棄物）と自己搬入ごみを受け入れており、浸水した場合には搬入経路の途絶や施設の処理機能の停止が想定され、廃棄物の処理が困難となる。
- 十勝川の洪水浸水想定区域内には、大規模な農畜産物の加工工場、農業協同組合事務所等が点在しており、平成 28 年 8 月洪水では農産物の缶詰工場（全国シェア 80% を占める）が被災を受けて、原材料の廃棄や缶詰の製造休止となり、生産者や全国の消費者へ影響が出た。また、浸水だけではなく、農地の土壌そのものが流出し、その影響は長期に及んでいる。
- 平成 28 年 8 月洪水により橋梁が被災を受けて、鉄道、道路網が長期間途絶となり、人員輸送、物流に多大な影響が出たことから、防災体制強化に向けた取組を推進する必要がある。

5. 二級水系の概要

■二級河川の地形的特徴

十勝総合振興局管内で北海道が管理する二級水系の河川は、11水系19河川あり、いずれも管内南部に位置するが、広尾町から浦幌町まで広範囲にわたるため、地形的特徴は、十勝川の左右岸ならびに町毎に異なる。

十勝川右岸側では、広尾町に位置する河川は、その源を日高山脈に発し、急峻な山間を抜け、海岸沿いの平野部で集落に達し太平洋に注ぐが、南部に位置する河川ほどその平野部分は短い。

大樹町を流れる管内最大の二級河川歴舟川水系は、その源を日高連峰の標高1600mを超える山麓にその源を発し、非常に急峻な溪谷から、ゆったりとした平野部で大樹町市街を通り、振別川と合流し太平洋に注ぐ。環境省の水質調査により、幾度も「日本一の清流」と認められ、平成8年には国土交通省から「水の郷百選」にも選ばれている。

歴舟川から十勝川にかけては、その源を豊頃丘陵に発し、ゆったりとした流れで、下流部には、汽水湖や沼、湿地を形成、周囲は海岸草原群落に囲まれた緑豊かな環境で、タンチョウをはじめ数多くの野鳥が確認され、道内有数の野鳥の生息地となっている。

十勝川左岸側、浦幌町を流れる厚内川は、釧路との境を成す白糠丘陵にその源を発し、山間の平地を大きく蛇行しながら流下し、厚内漁港付近で太平洋に注いでいる。

管内の二級河川における全体的な特徴としては、山地部の急峻な流れから平野部へと繋がる河川が多く、降雨開始から洪水到達までの時間が短く、平野部でその氾濫が一気に拡がりやすい地形である。

■二級河川流域の過去の水害状況

大樹町市街地においては、昭和39年の集中豪雨で浸水面積13.7ha、昭和47年9月の台風20号により、浸水面積8.3ha、浸水家屋37戸という大きな被害となった。

昭和50年8月洪水では、当縁川流域において、浸水面積16.2ha、浸水家屋12戸という被害が発生している。

近年では、紋別川流域で、平成5年6月の豪雨では浸水面積0.2ha、浸水家屋7戸、平成10年9月の豪雨および台風5号では浸水面積0.4ha、浸水家屋26戸を数える大きな被害が発生。また、生花苗川流域では、平成19年9月の台風5号により、浸水面積14.3ha、浸水家屋2戸という被害が発生している。

■二級河川流域の河川改修状況

河川毎に以下のような整備が実施されている。 ※（ ）は実施年度と改修延長

- ・西広尾川 …… 局部改良工事（昭和43～45年、L=1.2km）
- ・紋別川 …… 小規模改修工事（①昭和35～46年、L=9.1km、②昭和41～53年、L=2.9km、③昭和61～平成6年、L=5.5km）
- ・歴舟川 …… 小規模改修工事（昭和48～57年、L=1.725km）、環境整備事業（平成4～14年、L=1.725km）

- ・ 振別川 …………… 小規模改修工事（①昭和 41～49 年、L=2.3km、②昭和 50～59 年、L=2.2km）
- ・ 当縁川 …………… 局部改良工事（①昭和 43～52 年、L=2.5km、②昭和 53～61 年、L=3.8km、③昭和 59～平成 2 年、L=2.8km、④平成 5～12 年、L=3.2km）
- ・ 湧洞川 …………… 小規模改修工事（昭和 39～48 年、L=5.9km）

■二級河川流域の社会経済等の状況

二級河川の流域は、大樹町、広尾町、幕別町、豊頃町、浦幌町の 5 町からなり、その人口は約 5 万人である。（平成 22 年国勢調査）。

大樹町は、十勝管内の南に位置し、東は太平洋、西は日高山脈に接し、中央部は広大な十勝平野が広がり、農業を中心に漁業、林業を基幹産業として発展してきており、また、1980 年代に「航空宇宙産業基地」の候補地とされて以来、官民一体となって「宇宙のまちづくり」を進めている。

広尾町は、十勝管内の最南端に位置し、漁業を中心に農林業を基幹産業として発展、昭和 59 年にオスロ市から国外初のサンタランドの認定を受け、「愛と平和、感謝と奉仕」を基本理念にサンタランドにふさわしい町づくりに取り組んでいる。

幕別町は、十勝管内の中・南部に位置し、南北に細長い地形をなしている。平成 18 年に旧忠類村と合併を行い、新しいまちづくりがスタート、町の基幹産業である農業は、幕別地区では畑作物や野菜生産を主体とし、忠類地区では酪農を主体とするなど道内有数の農業主産地である。パークゴルフ発祥の地でもある。

豊頃町は、十勝管内東南端に位置し、農業と漁業を基幹産業としている。長節湖や湧洞湖などの汽水湖では、その周辺にハマナス、コケモモをはじめとする海岸草原群落が広がり、夏にはキャンプやマリンスポーツが行われている。

浦幌町は、十勝管内最東部に位置し、緩やかな丘陵地と河岸段丘からなる。山林が町面積の 7 割を占め、農業、林業、水産業と一次産業を基幹産業としている。縄文早期の石刃鏃文化の遺跡をはじめ擦文集落跡やチャシ跡などの文化財が多く残る。

交通は、国道 38 号、国道 336 号、JR 根室本線などがあり、日高地方と道東、帯広と釧路を結ぶ交通の要衝である。また、広尾町に位置する十勝港は、農業王国十勝における唯一の海の玄関口として、農作物の首都圏へ積出や化学肥料・飼料・セメント・石炭などの受け入れを行う流通拠点として重要な役割を担っている。

■二級河川流域の主な課題

○ 点在する集落が広範囲にわたり浸水

海沿いに点在する集落を流れる河川は、急峻な山間を流下し下流で市街地に達するため、急激な水位上昇による避難の遅れが想定されることに加え、氾濫した場合には浸水域が短時間で住居エリアへ拡大し、避難が困難となる浸水深に達するおそれがあるため、的確な水防活動による安全な避難場所への避難時間の確保や自発的な避難行動を促すための取組、確実かつ適切なタイミングでの避難情報を伝達することが重要である。また、避難経路となる主要道路の交通が遮断された場合を想定し、避難場所、移動経路について複数確保することが重要となる。

○ 浸水による主要交通網の途絶

流域の低平地での浸水被害が発生することにより、主要道路の交通途絶が発生し、避難が困難になるとともに、負傷者の災害時拠点病院への搬送や周辺市町村からの支援受入に時間を要するおそれがあることから、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所を設定することに加え、効率的な排水計画の検討や迅速・的確な排水活動を実施することが重要である。

○ 氾濫による基幹産業への影響

河川沿いの浸水が想定される低平地には、点在する集落のほか地域の基幹農業を支える農耕地帯が広がることから、基幹産業の社会経済活動の早期復旧にも考慮した、効率的な排水計画の検討や迅速・的確な排水活動を実施することが重要である。

○ 水防資材の備蓄

海沿いの集落では、洪水により国道などの交通途絶が発生すると陸の孤島と化す懸念があるため、近隣町村との連携を含め、水防資材・食料等の備蓄が必要である。

これらの課題に対して、協議会では十勝川を含めた管内河川の大規模水害に対し「主体的な避難行動の促進」、「社会経済被害の最小化」を目指すこととして、主に以下の取組を行うものとする。

- ハード対策として、洪水氾濫を未然に防ぐための堤防整備や河道掘削の実施、迅速・確実な避難に資するための堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強や、情報発信のための基盤整備等
- ソフト対策として、迅速・確実な避難に資するための避難指示等の判断・伝達計画作成や実践的な訓練の実施、防災教育や広報の充実、水防団・地域住民が参加した共同点検、大規模水害を想定した排水計画の作成等

このような取組を実施することにより、「水防災意識社会」の再構築を目指すものとする。

6. 現状の取組状況と課題

(1) 十勝川流域での現状の取組状況

十勝川流域における減災対策について、各構成員が現在実施している取組の概要は以下のとおりである。(別紙1参照)

1) 情報伝達、避難計画等に関する現状の取組

項目	現状の取組
洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング	○避難指示の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施している。(帯広開建、釧路地方気象台、十勝総合振興局、NHK) ○氾濫危険情報などの避難に資する洪水情報を緊急速報メールにて提供している。(帯広開建) ○重大災害が発生の恐れがある場合には、帯広開発建設部、釧路地方気象台、帯広測候所、十勝総合振興局から市町村長に情報伝達(ホットライン)をしている。(帯広開建、釧路地方気象台、帯広測候所、十勝総合振興局、市町村) ○避難指示などの避難情報を緊急速報メールにて提供している。(市町村) ○避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)を作成している。(帯広開建、釧路地方気象台、帯広測候所、十勝総合振興局、市町村) ○ダム状況を自治体などに連絡している。(北電、電源開発) ○氾濫危険情報の発表等をインターネットや自治体等から入手している。(JR) ○防災関係機関と情報共有している。(警察)
水害リスク情報	○洪水浸水想定区域図や家屋倒壊氾濫想定区域を公表し、市町村長に通知している。(帯広開建、十勝総合振興局) ○ハザードマップの作成公表、配布を実施している。(市町村) ○防災関係機関と情報共有している。(警察)
住民等への情報伝達の体制や方法	○河川水位、洪水予報及びライブ映像等の情報をホームページやテレビ等を通じて伝達している。(帯広開建、NHK) ○気象警報・注意報及び洪水予報等、各種気象データの情報をホームページやテレビ等を通じて伝達している。(釧路地方気象台)

	○パトカー、消防車両等による広報を実施している。(警察、消防) ○雨量、河川水位、ダム情報をインターネットで公表している。(十勝総合振興局) ○防災無線及び広報車による伝達、ホームページ、FaceBook、独自メール(登録制の防災情報メール)を導入している。(市町村) ○ダム水位等を川の防災情報に掲載している。(電源開発)
避難指示等の発令基準	○各市町村が行う避難指示等の発令基準等の策定や見直しについて、支援を行っている。(帯広開建、釧路地方気象台、帯広測候所、十勝総合振興局) ○避難指示等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発表している。(市町村) ○防災関係機関と情報共有している。(警察)
避難誘導体制	○避難誘導は、地域防災計画に基づき、市町村職員、消防団、及び警察官等が連携して実施する。(市町村、消防、警察)

2) 水防に関する現状の取組

項目	現状の取組
河川巡視	○平時に水防活動の効率化を図るため、関係機関と水害リスクの高い箇所合同巡視を実施している。(帯広開建、市町村)
水防資機材の整備状況	○水防資機材は水防拠点、防災資機材備蓄センター、備蓄倉庫等に保有している。(帯広開建、十勝総合振興局、市町村、警察、自衛隊、消防、北電、電源開発)
水防活動の実施体制	○災害発生時に地域で相互に協力できるよう、関係機関や水防団において訓練を実施。(帯広開建、十勝総合振興局、市町村、警察、自衛隊、消防) ○自主防災組織の育成。(市町村) ○救援資材の使用要領習熟のための訓練を実施(自衛隊)
その他	○関係団体や民間企業と防災に関する協定を締結している。(帯広開建、市町村、警察)

3) 氾濫水の排水、施設運用等に関する現状の取組

項目	現状の取組
排水施設、排水資機材の操作・運用	○水防体制強化のため、水防資機材を活用し、関係機関と連携した水防訓練を実施している。(帯広開建、市町村) ○樋門の操作点検を出水期前に実施している。(帯広開建、十勝総合振興局、市町村)
既存ダムにおける洪水調節の現状	○ダム流域内総雨量とダム流入量が基準に達した場合、洪水警戒体制に入り、ダム下流の関係機関に対して「洪水警戒体制」を通知している。(帯広開建) ○ダム操作情報の通知を受理した際、速やかに関係防災機関へ通知をしている。(十勝総合振興局、町) ○ダム状況、放流状況を自治体に通知している。(北電) ○ダム状況、気象予測を基に判断して貯水容量を確保している。(電源開発) ○治水協定に基づき、必要に応じ事前放流を実施することとしている。(帯広開建、町、北電、電源開発)

4) 河川管理施設の整備に関する現状の取組

項目	現状の取組
堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容	○計画に満たない堤防に対し、整備を実施している。(帯広開建) ○流下能力が不足している河道に対し、断面を確保するため、河道掘削を推進している。(帯広開建、十勝総合振興局) ○氾濫の危険性が高い区間における、樹木や堆積土砂の維持管理を実施している。(帯広開建、十勝総合振興局)
出水状況把握のための整備	○危険箇所への危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ、CCTV カメラの整備を実施している。(帯広開建) ○「中小河川緊急治水対策プロジェクト」に基づき危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備を行っている。(十勝総合振興局) ○監視カメラ機能向上を実施している。(北電)

（２）十勝川流域での課題

市町村等が過去の洪水経験や近年の北海道の気候変動の影響等から考えられる減災対策を実施するうえで、十勝川流域での課題や浸水時の社会的影響に関する課題は以下のとおりである。

※各項目の課題番号は、後述の「８．概ね５年で実施する取組」の内容と対応

１）市町村等が抱える課題

【避難行動に関する事項】

- ①防災情報をあらゆる手段で配信したとしても、受け手側の住民の防災意識が低いことから、防災情報の意味が理解されず、避難場所も知らないことから避難行動に繋がらない
- ②高齢者が多くなっている現状を踏まえ、自力で避難行動ができない住民に対する避難体制の構築が急務となっている
- ③避難しても自宅に戻ってしまうため、住民の意識向上に向けた取組が必要
- ④避難所開設・運営について、職員の数、習熟度の差、避難所運営に関するマニュアルの未整備など課題が多く浮き彫りになった
- ⑤他の市町村で堤防が決壊した場合の想定を地域防災計画に位置づけていない

【防災情報提供に関する事項】

- ⑥大雨時には防災無線や広報車での情報伝達が聞き取りづらい現状があることから、防災情報が住民に届かず的確な避難行動に結びついていない
- ⑦ハザードマップに記載している避難経路については、津波浸水を想定した避難経路の指定は行っているが、洪水等による避難経路の選定は行っていないため、洪水時に迅速な避難ができない懸念がある
- ⑧大きな河川では水位予測等の防災情報共有体制、避難計画が整っている一方で、中小河川の水位観測、避難体制ができていないため、避難指示等の判断基準となる水位情報の収集や逃げ遅れ等の懸念がある
- ⑨避難指示等の発令や被災時の減災対策を実施するうえで必要となる上流ダム放流による水位上昇等の把握が困難であり、的確な復旧作業等への支障が懸念される（音更町）
- ⑩雨の降り方が変わってきている現状を踏まえ、利水ダムとの連携も考慮した防災体制の構築が必要（音更町、土幌町、池田町、本別町）
- ⑪夜間の避難指示発令では、多くの住民が就寝中であるため、情報が十分に届かない懸念がある（帯広市）
- ⑫緊急速報メールを活用して、避難指示等の周知を図っても、全住民に周知できず、広報車や戸別訪問で対応したが多くの時間を要した（帯広市、新得町、清水町、芽室町）
- ⑬避難指示等の発令について、夜間であるための躊躇、急な水位上昇による発令タイミングの遅れ、住民に「避難準備情報」が理解されていないとの不安等から発令を行うことができなかったため、発令基準の整理が必要（帯広市、幕別町、本別町）

- ⑭避難指示の目安となる水位に到達しなかったが、村内の堤防で決壊が起こったことから、発令判断の難しさが露呈された（中札内村）
- ⑮川を挟んで左右岸の市町村で同時期に同様な避難指示等を行い住民に混乱が生じないよう配慮すべきであったが、他の市町村との情報共有ができなかった（浦幌町）
- ⑯気象・河川の水位情報の収集、住民への情報提供、関係機関との情報共有が不十分であったため、システム操作に関する職員の習熟度向上や関係機関連携に関する検討が必要（帯広市、芽室町、中札内村、幕別町）
- ⑰送信機器の能力限界により、水防警報などを関係機関へ伝達できなかった（十勝総合振興局）

【水防・復旧活動に関する事項】

- ⑱タイムラインの整備にあたっては、大河川に比べ洪水頻度の高い中小支川も対象として検討を行う必要がある（豊頃町）
- ⑲洪水時に高い河川水位が長時間継続する下流地域では、内水氾濫による農作物への影響が懸念される（豊頃町）
- ⑳実際の水防活動や専門的な知識を習得する機会が少ないこと、水防団員（消防団員）が減少傾向であることから、水防活動を的確にできないことが懸念される（共通）
- ㉑水防資機材の種類や量について、被災経験が少なく大規模出水に対応した妥当性が判断できないため、不足している懸念がある（共通）
- ㉒被害情報の共有が関係機関の間で不十分（共通）

2) 浸水時の社会的影響に関する課題

- ㉓浸水想定区域内に災害対応を実施する公的機関の庁舎等が点在しているため、浸水を想定した防災対応計画の作成が必要となる
- ㉔災害拠点病院や帯広都市圏の主要な病院が浸水想定区域内に多数存在しているため、当該病院への防災意識向上に向けた啓発活動や洪水時の防災情報提供体制の構築、浸水時の避難行動等の計画作成に向けた支援を行う必要がある
- ㉕浸水想定区域内に変電所、十勝管内市町村からの廃棄物を処理する施設、大規模な農畜産物の加工工場、農業協同組合事務所等が点在していることから、各事業者への防災意識向上に向けた啓発活動や事業継続計画作成に向けた支援を行う必要がある
- ㉖JR 根室本線が長期間途絶したことから、鉄道事業者と連携した浸水時における対応計画作成に向けた支援を行う必要がある

3) その他の課題

- ㉗大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統の把握、排水ポンプ車等の受け入れ体制・配置計画、関係機関の連携による排水作業準備計画を検討する必要がある

- ⑳無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防、河道断面が不足している区間があり、氾濫のおそれがあることと、今後は近年の北海道の気象変化を踏まえた河川整備や維持管理を実施する必要がある
- ㉑管理している河川延長が長いこと、水門・樋門等の施設数が多いことに加え、巡視等を行う人員の不足、高齢化していることから、出水時の操作・管理、被災状況等の把握を的確に実施することができないおそれがある
- ㉒新型コロナウイルス感染症の拡大により、災害時の避難のあり方や避難所運営について考えていく必要がある

7. 減災のための目標

円滑かつ迅速確実な避難や的確な水防活動の実施、及び円滑かつ迅速な氾濫水の排水等の対策を実施するため、各構成員が連携して令和7年度までに達成すべき減災目標は、以下のとおりとした。

【5年間で達成すべき目標】

十勝川を含めた管内河川の大規模水害に対し「主体的な避難行動の促進」、「社会経済被害の最小化」を今後も継続して目指す。

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※主体的な避難行動・・・流域住民が予め避難経路・避難場所、提供される防災情報を把握し、避難指示発令等において速やかにとる行動

※社会経済被害の最小化・・・大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態を目指す

【目標達成に向けた3つの取組】

十勝川を含めた管内河川において水災害防止・軽減を目的として、河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を安全に流す対策に加え、以下の取組を引き続き実施。

(1) 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組

(2) 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組

(3) 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組

8. 概ね5年で実施する取組

氾濫が発生することを前提として、社会全体で、常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に、各構成員が取り組む主な内容は次のとおりである。（別紙2参照）

（1）ハード対策の主な取組

堤防整備等が途上であり、洪水により氾濫するおそれがある。また、適切な避難行動や水防活動等に資する基盤整備が不足している。以上を踏まえたハード対策における主な取組項目・目標時期・取組機関は、以下のとおりである。

主な取組項目	課題の対応	目標時期	取組機関
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策			
堤防整備 堤防天端の保護 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑳	～令和7年度	十勝総合振興局 帯広開発建設部
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	令和元年から実施	十勝総合振興局 帯広開発建設部
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	令和3年度から実施	十勝総合振興局 釧路地方气象台 帯広開発建設部 NHK
洪水予報等をプッシュ型で情報発信	⑥	令和3年度から実施	帯広開発建設部 气象台 NHK
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	令和3年度～	13市町村 十勝総合振興局
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉑	～令和7年度	十勝総合振興局 帯広開発建設部

	下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	令和３年度～	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)
--	-----------------------------------	----	--------	-------------------------------

(２) ソフト対策の主な取組

各参加機関が実施するソフト対策のうち、主な取組項目・目標時期・取組機関については、以下のとおりである。

１) 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組

洪水から時間が経過し、水害についての意識の薄れから防災情報や水害リスクについての認識不足が懸念されること、的確な避難体制が求められること等から、以下のとおり実施する。

主な取組項目	課題の 対応	目標時期	取組機関
■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項			
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション（浸水ナビ）等による公表及び周知	⑦	令和３年度から 実施	十勝総合振興局 帯広開発建設部
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	令和３年度から 実施	１７市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	令和３年度から 実施	１６町村 帯広開発建設部
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	令和３年度から 実施	８町 十勝総合振興局 帯広開発建設部
避難指示の発令等に着目した防災行動計画（タイムライン）について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑯	令和３年度から 実施	１７市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広測候所 帯広開発建設部 警察
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑮⑯⑰⑲	令和３年度から 実施	１９市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台

				帯広測候所 帯広開発建設部 警察 自衛隊 消防 N H K J R 北海道電力(株) 電源開発(株)
	十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	令和3年度から実施	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広測候所 帯広開発建設部
	地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	令和3年度から実施	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広測候所 帯広開発建設部 警察 消防
	関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	令和3年度から実施	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広測候所 帯広開発建設部 消防 電源開発(株)
	住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	令和3年度から実施	16市町村 釧路地方気象台 帯広測候所 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)

	ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	令和３年度から実施	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)
--	---	---	-----------	---

２）人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組
防災情報伝達体制の不十分により受け手側の住民が的確な避難行動を起こさない懸念があること等から、以下のとおり実施する。

主な取組項目	課題の対応	目標時期	取組機関
■情報伝達、避難計画等に関する事項			
洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの構築）及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	令和３年度から実施	十勝総合振興局 帯広開発建設部
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	令和３年度から実施	帯広開発建設部
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	令和３年度から実施	十勝総合振興局 帯広開発建設部
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	令和３年度から実施	６市町村 帯広開発建設部 ＮＨＫ
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	令和３年度から実施	１８市町村 帯広開発建設部 ＮＨＫ
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	令和３年度から実施	１９市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広測候所 帯広開発建設部 警察 消防
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	令和３年度から実施	釧路地方気象台 電源開発(株)

新型コロナウイルス感染症対策も考慮した想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧⑩	令和３年度から実施	１８市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	令和３年度から実施	１８市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広測候所 帯広開発建設部 警察
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②③④⑤⑥	令和３年度から実施	１８市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察 消防 電源開発(株)

３）長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組

水防団員の不足に加え、水防団等との連携や水防資機材の不足、氾濫が起きた際の迅速な排水作業が行えない等の懸念があるため、社会経済活動の早期復旧に資する取組として、以下のとおり実施する。

主な取組項目	課題の対応	目標時期	取組機関
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項			
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	引き続き定期的に実施	１８市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	②①	令和３年度から実施	１８市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察 自衛隊 消防
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑩	引き続き定期的に実施	１９市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部

				警察 自衛隊 消防
	水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫ ⑮⑯⑰⑳ ㉓㉔㉕㉖	引き続き定期的に実施	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察 自衛隊 消防 NHK JR 北海道電力(株) 電源開発(株)
	市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	㉔	令和3年度から実施	19市町村
	自主防災組織や地域防災リーダー等の育成	①②③	令和3年度から実施	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)
	被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉔	令和3年度から実施	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察 自衛隊 消防
■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み				
	訓練を通じ、排水ポンプ車等の対車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	令和3年度から実施	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防
	関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成・見直し及び訓練の実施や、内水氾濫による排水活動の体制確認	⑲⑳	令和3年度から実施	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部

想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②③	令和３年度から 実施	１０町
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②⑨	令和３年度から 実施	帯広開発建設部
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する 項			
浸水想定区域内の拠点施設（病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等）に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	②④②⑤②⑥	令和３年度から 実施	１７市町村 帯広開発建設部

9. フォローアップ

各関係機関の取組については、必要に応じて防災業務計画や地域防災計画等に反映することなどによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

原則、協議会を毎年開催し、取組の状況を確認し必要に応じて取組方針を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図る等、継続的なフォローアップを行うこととする。（本協議会規約第3条第3項）

①情報伝達、避難計画等に関する事項

項 目	帯広開発建設部	釧路地方気象台	十勝総合振興局	帯広市	音更町	士幌町	新得町	清水町	芽室町	中札内村	池田町	幕別町	豊頃町	本別町	浦幌町	上士幌町	鹿追町
洪水時における情報提供等の内容及びタイミング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水害リスク情報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
避難場所・避難経路			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
住民等への情報伝達の体制や方法	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
避難指示等の発令基準	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
避難誘導体制			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

②水防に関する事項

項 目	帯広開発建設部	釧路地方気象台	十勝総合振興局	帯広市	音更町	士幌町	新得町	清水町	芽室町	中札内村	池田町	幕別町	豊頃町	本別町	浦幌町	上士幌町	鹿追町
河川巡視	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水防資機材の配備状況	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
水防活動の実施体制	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
その他	●		●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●		●

③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

項 目	帯広開発建設部	釧路地方気象台	十勝総合振興局	帯広市	音更町	士幌町	新得町	清水町	芽室町	中札内村	池田町	幕別町	豊頃町	本別町	浦幌町	上士幌町	鹿追町
排水施設、排水資機材の操作・運用	●		●	●	●		●		●	●	●	●	●			●	
既存ダムにおける洪水調節の現状	●		●														

④河川管理施設等の整備に関する事項

項 目	帯広開発建設部	釧路地方気象台	十勝総合振興局	帯広市	音更町	士幌町	新得町	清水町	芽室町	中札内村	池田町	幕別町	豊頃町	本別町	浦幌町	上士幌町	鹿追町
堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備状況	●		●														
出水状況把握のための整備	●		●														

現状の水害リスク情報、取組状況

別紙1

①情報伝達、避難計画等に関する事項

項 目	更別村	大樹町	広尾町	足寄町	陸別町	北海道警察釧路方面本部・各警察署	陸上自衛隊第5旅団	とちろ広域消防局	日本放送協会帯広放送局	北海道旅客鉄道株式会社釧路支社	北海道電力株式会社新得水力センター	電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所
洪水時における情報提供等の内容及びタイミング	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●
水害リスク情報	●	●		●	●	●						
避難場所・避難経路	●	●	●	●	●	●				●		
住民等への情報伝達の体制や方法	●	●	●	●	●	●		●	●			●
避難指示等の発令基準	●	●	●	●	●	●						
避難誘導体制	●	●	●	●	●	●		●				

②水防に関する事項

項 目	更別村	大樹町	広尾町	足寄町	陸別町	北海道警察釧路方面本部・各警察署	陸上自衛隊第5旅団	とちろ広域消防局	日本放送協会帯広放送局	北海道旅客鉄道株式会社釧路支社	北海道電力株式会社新得水力センター	電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所
河川巡視	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●
水防資機材の配備状況	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●
水防活動の実施体制	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●
その他	●		●	●	●	●						

③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

項 目	更別村	大樹町	広尾町	足寄町	陸別町	北海道警察釧路方面本部・各警察署	陸上自衛隊第5旅団	とちろ広域消防局	日本放送協会帯広放送局	北海道旅客鉄道株式会社釧路支社	北海道電力株式会社新得水力センター	電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所
排水施設、排水資機材の操作・運用	●	●		●	●							
既存ダムにおける洪水調節の現状											●	●

④河川管理施設等の整備に関する事項

項 目	更別村	大樹町	広尾町	足寄町	陸別町	北海道警察釧路方面本部・各警察署	陸上自衛隊第5旅団	とちろ広域消防局	日本放送協会帯広放送局	北海道旅客鉄道株式会社釧路支社	北海道電力株式会社新得水力センター	電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所
堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備状況												
出水状況把握のための整備											●	

帯広開発建設部

計画年度			課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度							
項目、事項、内容		業務内容			時期	R3	R4	R5	R6	R7				
1. ハード対策														
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策														
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・堤防整備、河道掘削、侵食 対策、河道等の維持管理を実施	～令和7年度	・堤防整備、河道掘削、侵食 対策、河道等の維持管理を 順次実施	→	十勝川等堤防整備、利別 川河道掘削等の実施 河道内流木、堆積土砂の 撤去等による維持管理の 実施	利別川河道掘削、音更川 河岸保護等の実施 流水処理、樹木伐採等維持 管理を実施 札内川ダムの改良の調査・ 検討、機井ダム有効活用 に向けた治水機能増強 検討調査の実施	利別川河道掘削、札内川 侵食対策等の実施 流水処理、樹木伐採等維持 管理を実施 札内川ダムの改良の調査・ 検討、機井ダム有効活用 に向けた治水機能増強 検討調査の実施					
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備														
住民の避難行動を促すために設置した、 危機管理型水位計、簡易型河川監視 カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・危険箇所等に設置した水位 計や簡易カメラの維持管理や 必要に応じ配置箇所の見直し を行う	令和3年度～	・水位計や簡易カメラの維持 管理を実施	→	更新計画作成	簡易水位計 6基 簡易カメラ 10基 更新	水位計や簡易カメラの維 持管理を実施					
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動 を支援するため、スマートフォン等を 活用したリアルタイム情報の提供のシス テム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK	・スマートフォン等を活用した情報 発信やネットメディアへの誘 導に向けた周知を実施	令和3年度～ 順次実施	・「川の防災情報スマホ版」 やホームページにおいて、水 文情報等の公開を実施	→								
洪水予報等をプッシュ型で情報発信する ためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK	・プッシュ型の洪水予報等の情報 発信を実施	令和3年度～	洪水予報河川における氾濫 危険情報及び氾濫発生情報 の情報発信を実施	→	今年度実績なし 訓練にて実施	今年度実績なし 訓練にて実施	今年度実績なし 訓練にて実施					
防災行政無線の改良、スピーカーの性能 向上、防災ラジオ配付などの防災情報 伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局												
樋門、樋管等の施設の確実な運用体制を 確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・優先的に整備する対象施設 を抽出し、順次整備を実施	～令和7年度	・優先的に整備する施設につ いて順次整備を実施	→	4樋門において自動化	次年度整備に向けて調整	3樋門において自動化					
下流河川の安全に資するため、ダムの 再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)	・利水ダムの情報提供のための 設備改良	令和3年度～	・利水ダムの情報について、 川の防災情報において情報 提供を実施	→								
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組														
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項														
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、 家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水 シミュレーション(浸水ナビ)等による公 表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・必要に応じ見直しを行うと共に、 引き続き周知を行う	令和3年度～	・洪水浸水想定区域図や家 屋倒壊等氾濫想定区域につ いて周知を実施	→	HP公開のほか、出前講座 等により周知	HP公開のほか、出前講座 等により周知	HP公開のほか、出前講座 等により周知					
想定最大規模の洪水に係る浸水想定 区域図に基づいたハザードマップの作 成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・市町村のハザードマップ等の 改良支援を行う	令和3年度～	・引き続き、必要に応じて改 良支援を実施	→								
想定最大規模の洪水に係る浸水想定 区域図に基づいたまちごとハ ザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・市町村のまちごとハ ザードマップ等の整備支援を行 う	令和3年度～	・引き続き、必要に応じて整 備支援を実施	→	浦幌町と整備に向けてた 調整		引き続き、必要に応じて整 備支援を実施					
各構成員が既に保有する浸水実績等の 水害危険性に関する情報を共有し、 市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績に関する情報を、当 該市町村へ共有するなどの支 援を実施	令和3年度～	・引き続き、河川管理者が把 握した浸水実績に関する情報 を市町村と共有	→	令和5年度浸水実績なし	令和6年度浸水実績なし	引き続き、河川管理者が把 握した浸水実績に関する 情報を市町村と共有					
避難指示の発令等に着目した防災行動 計画(タイムライン)について、避難判断 基準を盛り込み、住民や水防団等を含 めた関係機関と連携した訓練の実施を 通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難指示に着目した防災行 動計画(タイムライン)の精度向 上を検討	令和3年度～ 順次実施	・避難勧告に着目した防災 行動計画(タイムライン)の精 度向上を検討	→	・国管理区間における流域 タイムラインの作成 流域タイムラインの周知	流域タイムラインの周知	流域タイムラインの周知					
各構成員の出水時等の情報共有体制を 確実なものとするため、情報伝達訓練 を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連 携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・帯広市、本別町、音更町、 士幌町、十勝総合振興局、 釧路地方気象台と連携した 情報伝達訓練を実施	→	・流域の関係機関が参加 し、十勝川水系音更川総 合水防演習を実施。	出水を想定した洪水対応 演習を音更町、本別町、 十勝総合振興局、気象台 と連携し実施	出水を想定した洪水対応 演習を音更町、十勝総合 振興局、気象台と連携し 実施					
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓 発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・教育素材を作成し、防災教育 の支援・実施をしていく	令和3年度～ 順次実施	・音更町、帯広市の管内の 防災教育の支援を実施し、 教育素材等を減災対策協議 会構成員に共有	→	管内の小学校、高等学 校、大学校等に防災教育 の実施	管内の小学校、高等学 校、大学校等を対象に防 災教育の実施	管内の小学校、高等学 校、大学校等を対象に防 災教育の実施					
地域住民と協働した地域防災力向上の 取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・河川協力団体等と連携し高 校生への防災教育や避難誘導 に資する情報提供システムの 周知を実施	令和3年度～ 順次実施	・河川協力団体等と連携し、 高校生への防災教育や避難 誘導に資する情報提供シス テムの周知を実施	→	帯広工業高校3年生を対 象に実施	帯広工業高校3年生を対 象に実施	帯広工業高校3年生を対 象に実施					
関係機関の職員及び住民を対象とした 水防に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関と連携し、講習会を 実施	令和3年度～ 順次実施	・関係機関の職員を対象とし た研修会を実施	→	H28出水風化防止を目的 とした研修会の実施	めむる柏樹学園へ洪水か ら身を守るための講習会の 実施	引き続き、関係機関と連 携し、講習会を実施					
住民の水防意識再構築のため、広報誌 や各機関のホームページを通じて十勝 川での洪水の歴史や恐ろしさを周知す る広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP等を活用した情報提供によ り広報の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	・引き続き、十勝川での洪水 の歴史や出水概要等につい て、HP等を活用し情報提供 を実施	→	治水100年記念事業の一 環として各自治体で過去 の災害等のパネル展を実施	勝川での洪水の歴史や 出水概要等について、HP 等を活用し情報提供を実施	十勝川での洪水の歴史や 出水概要等について、HP 等を活用し情報提供を実施					
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要 に応じ、治水協定に基づく事前放流を 実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)	・警戒体制に入った場合、下流 関係者へ連絡	引き続き 実施	・引き続き、警戒体制に入 った場合、下流関係者へ連絡	→								
			・治水協定に基づき、事前放流 を実施	令和3年度～	・治水協定に基づき、事前放 流を運用	→								
			・出水時におけるダム状況を反 映するよう洪水予測システム の改良を実施	令和3年度～	・ダムからの放流量等も踏 まえた洪水予測が可能とな るよう改良を実施	→								
			・既存システム(川の防災情報)を活用し、利水ダムの状況 をリアルタイムで情報提供で きるよう調整を実施	令和3年度～	・川の防災情報において利 水ダム(電源開発)の状況を リアルタイムで提供	→								

帯広開発建設部

市川開発建設部			課題の 対応		取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
項目、事項、内容						業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組												
■情報伝達、避難計画等に関する事項												
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認			⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	引き続き実施	・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認 ・ホットラインを活用した情報提供を実施					
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う			⑬	帯広開発建設部	・洪水予報文の改良を適宜実施	令和3年度～	改良した洪水予報文による洪水予報を実施		→	今年度改良なし	今年度中の改定に向けて調整中	令和7年3月25日に改定済み
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供			⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・危険箇所における水位情報や映像情報をリアルタイムで情報提供	令和3年度～	・既存の水位観測所を含めた水位データを「川の水位情報」にて提供開始					
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供			⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・スマートフォンを活用した情報発信を実施	令和3年度～ 順次実施	・気象情報、水質、土砂災害情報及び災害発生情報等を一元的に集約したポータルサイトの作成(気象・水害・土砂災害マルチモニタ) ・「ケ」タブレットと連携した映像配信の取組を実施					
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信			⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信や訓練を実施	令和3年度～	・洪水予報河川における氾濫危険情報及び氾濫発生情報の情報発信体制の準備、配信操作訓練を実施					
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し			⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・各市町村が行う地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画作成や見直しについて、支援を行う	令和3年度～	・各市町村が行う水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画作成や見直しについて、必要に応じて支援を行う					
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善			⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)								
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し			②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・各市町村が行う避難場所・方法の見直しについて、支援を行う	令和3年度～	・各市町村が行う避難場所・方法の見直しについて、支援を行う					
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進			②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・各市町村が行う取組について、支援を行う	令和3年度～	・各市町村が行う取組について、支援を行う		→	音更町主催の、要配慮者利用施設における避難訓練と併せて防災情報の入手方法等について周知		引き続き各市町村が行う取組について、支援を行う
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携			③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る					
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施			②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・毎年出水期前を基本に重要水防箇所等の共同点検を行う ・整備状況等を確認し、毎年重要水防箇所の見直しを行う ・危険箇所の情報提供を行う	引き続き 定期的に実施	・毎年、出水期前を基本に重要水防箇所等の協働点検を行う ・整備状況等を確認し、毎年重要水防箇所の見直しを行う					
迅速な水防活動を支えるため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施			②⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・必要な量・地域を検討し、水防資機材の整備を進める	令和3年度～ 順次実施	・必要な水防資機材の量・地域を検討し、整備を実施					
関係機関が連携した水防訓練を継続実施			②⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・関係機関と調整し、水防訓練の実施または参加をする	引き続き 定期的に実施	・関係機関と連携し、水防技術講習会を開催	十勝川水系音更川総合水防演習の実施	→	関係機関と連携し、水防技術講習会を開催		
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施			⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・関係機関と調整し、情報伝達訓練の実施または参加をする	引き続き 定期的に実施	・豊頃町、土堤町、十勝総合振興局、釧路地方気象台と連携した情報伝達訓練を実施	→	豊頃町、土堤町、十勝総合振興局、釧路地方気象台と連携した情報伝達訓練を実施	ダムの洪水対応演習にて電源開発(株)等関係機関との情報伝達訓練の実施		
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進			②⑩	19市町村								
自主防災組織や地域防災リーダーの育成			①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・出前講座等を実施し、自主防災組織や地域防災リーダー育成に向けた支援を実施	令和3年度～ 順次実施	・出前講座等を実施し、自主防災組織育成に向けた支援を実施					
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施			②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施					
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認			⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・水防連絡協議会等を活用し、毎年体制を確認する ・災害対策用機械の操作訓練を継続的に実施	令和3年度～ 順次実施	・協議会等の場において、災害時の出動要請の調整方法について確認 ・災害対策用機械の操作補訓練を実施					
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施			⑨⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・作成した排水計画を協議会の場で共有 ・定期的な訓練の実施	令和3年度～ 順次実施	・作成した排水計画(18箇所の氾濫ブロック)を踏まえた訓練の実施。	→	排水準備計画ツールの操作方法の確認			
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進			②	10町村								
水門、橋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進			②	帯広開発建設部	・施設の点検整備体制の確認 ・内外水位リアルタイム状況を共有できるシステムの運用	令和3年度～	・施設の点検整備の実施 ・内外水位リアルタイム状況を共有できるシステムの運用					
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項												
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供			④⑤⑥	17市町村 帯広開発建設部	・各施設等へリスク説明、情報提供体制の構築を行う	令和3年度～	引き続き、各施設等へのリスク説明、情報提供を実施					

釧路地方気象台

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK	・スマートフォン等で閲覧できる15時間先まで雨の予報を提供 ・スマートフォン等の位置情報機能を活用した洪水発生時の危険度の高まり等を地図上に表示する「危険度分布」の提供 ・台風の接近等による大雨等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している際に、気象庁が持つ危機感をより効果的に伝えるために気象庁防災情報Twitterアカウントにより発信 ・より多くの方に気象庁の危機感を伝えるため、YouTubeを利用した「緊急記者会見」のライブ中継を発信	令和3年度～ 順次実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、住民の避難行動につながる効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、住民の避難行動につながる効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、住民の避難行動につながる効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、住民の避難行動につながる効果的な対応及び支援を実施した。
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK	・「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを、気象庁の協力の下で民間の協力事業者が開始。通知サービスでは、ユーザーが登録した地域における危険度の変化に気付くことができるように、スマートフォンのアプリやメール等でお知らせする	令和3年度～ 順次実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施した。
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充塞	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑯	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・必要な防災気象情報等の提供 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	・引き続き、防災気象情報の提供 ・引き続き、避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に支援する	・防災気象情報の提供 ・引き続き、避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に支援	・防災気象情報の提供 ・引き続き、避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に支援	・防災気象情報の提供 ・引き続き、避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に支援	・防災気象情報の提供 ・引き続き、避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に支援した。
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑤⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・引き続き、帯広開発建設部と連携し十勝川水系洪水予報伝達訓練を実施	・引き続き、帯広開発建設部と連携し十勝川水系洪水予報伝達訓練を実施し、情報伝達方法を確認	・引き続き、帯広開発建設部と連携し十勝川水系洪水予報伝達訓練を実施し、情報伝達方法を確認	・引き続き、帯広開発建設部と連携し十勝川水系洪水予報伝達訓練を実施し、情報伝達方法を確認	・引き続き、帯広開発建設部と連携し十勝川水系洪水予報伝達訓練を実施し、発表手順や情報伝達方法を確認した。
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	令和3年度～ 順次実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施した。
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	令和3年度～ 順次実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施した。
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	令和3年度～ 順次実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応及び支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、機会を通じて効果的な対応及び資料提供等の支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、機会を通じて効果的な対応及び資料提供等の支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、機会を通じて効果的な対応及び資料提供等の支援を実施	引き続き、関係機関と連携し、機会を通じて効果的な対応及び資料提供等の支援を実施した。
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	令和3年度～ 順次実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応を実施	引き続き、関係機関と連携し、効果的な対応を実施した。
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの構築）及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・作成に必要な情報の提供および策定を支援	令和3年度～順次実施	引き続き、作成に必要な情報の提供および策定を支援	引き続き、作成に必要な情報の提供および策定を支援	引き続き、作成に必要な情報の提供および策定を支援	引き続き、作成に必要な情報の提供および策定を支援	引き続き、作成に必要な情報の提供および策定を支援した。
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)	・警戒等における危険度の色分け表示 ・「警戒級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	令和3年度～順次実施	引き続き、「危険度を色分けした時系列」及び「警戒級の可能性(早期注意情報)」を発信し、自治体における防災対応の効果的な支援を実施	引き続き、「危険度を色分けした時系列」及び「警戒級の可能性(早期注意情報)」を発信し、自治体における防災対応の効果的な支援を実施	引き続き、「危険度を色分けした時系列」及び「警戒級の可能性(早期注意情報)」を発信し、自治体における防災対応の効果的な支援を実施	引き続き、「危険度を色分けした時系列」及び「警戒級の可能性(早期注意情報)」を発信し、自治体における防災対応の効果的な支援を実施	引き続き、「危険度を色分けした時系列」及び「警戒級の可能性(早期注意情報)」を発信し、自治体における防災対応の効果的な支援を実施した。また、来年度出水期から開始予定の「新しい防災気象情報」に向けて、自治体と調整するなど準備を行った。
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・要配慮者利用施設管理者向けの説明会など、要配慮者支援体制の構築への支援	令和3年度～順次実施	引き続き、関係機関と連携し支援を行う	引き続き、関係機関と連携し支援を行う	引き続き、関係機関と連携し支援を行う	引き続き、関係機関と連携し支援を行う	引き続き、関係機関と連携し支援を行う
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)							
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共通点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支えるため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑳	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)							
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	㉒	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)							
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉔	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑰	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑰⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉔	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉔	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部							

十勝総合振興局

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・堤防整備、堤防天端の保護、河道掘削、排水機場整備、河畔林伐削を実施	～令和7年度	・堤防整備、堤防天端の保護、河道掘削、排水機場整備、河畔林の伐採を順次実施				
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・危険箇所等に設置した水位計や簡易カメラの維持管理や必要に応じ配置箇所の見直しを行う	令和3年度～	・危険箇所等に設置した水位計や簡易カメラの維持管理や必要に応じ配置箇所の見直しを行う				
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK	・中小河川における水位計の設置	平成29年度～	・中小河川における水位計の設置				
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑦	13市町村 十勝総合振興局	・水防警報発表に関してFAX以外の伝達方法を検討	平成28年度～	・水防警報発表に関してFAX以外の伝達方法を順次検討				
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	勝総合振興局 帯広開発建設部	・樋門樋管等の新設、改築時に、必要に応じて順次整備を実施	～令和7年度	・樋門樋管等の新設、改築時に、必要に応じて順次整備を実施				
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)	・佐幌ダム嵩上げの実施	令和3年度～	・佐幌ダム嵩上げの実施				
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の浸水測定区域図を作成、公表	令和3年度～	・想定最大規模の浸水測定区域図を作成、公表				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・市町村のハザードマップ等の改良支援を行う	令和3年度～	・市町村のハザードマップ等の改良支援を行う				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績に関する情報を、当該市町村へ共有するなどの支援を実施	令和3年度～	・浸水実績に関する情報を、当該市町村へ共有するなどの支援を実施				
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画				
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JRC 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・関係機関と協力して対応する	令和3年度～ 順次実施	・関係機関と協力して対応する				
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・河川協力団体等と連携し高校生への防災教育を実施	令和3年度～ 順次実施	・河川協力団体等と連携し高校生への防災教育を実施				
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・避難時の水防災に関する意識向上のための講習会等を実施	令和3年度～ 順次実施	・避難時の水防災に関する意識向上のための講習会等の実施				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	・HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)	・警戒体制に入った場合、下流関係者へ連絡	引き続き 実施	・警戒体制に入った場合、下流関係者へ連絡				

十勝総合振興局

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	勝総合振興局 帯広開発建設部	・沿川市町村等と河川管理者において、ホットラインを構築	令和3年度～	・沿川市町村等と河川管理者において、ホットラインを構築				
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・洪水時に避難のために河川水位などの現況把握が必要箇所の水位情報や映像情報をリアルタイムで情報提供	令和3年度～	・洪水時に避難のために河川水位などの現況把握が必要箇所の水位情報や映像情報をリアルタイムで情報提供				
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・各市町村が行う地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画作成や見直しについて、支援を行う	令和3年度～	・各市町村が行う地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画作成や見直しについて、支援を行う				
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・各市町村が行う避難場所・方法の見直しについて、支援を行う	令和3年度～	・各市町村が行う避難場所・方法の見直しについて、支援を行う				
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・各市町村が行う取組について、支援を行う	令和3年度～	・各市町村が行う取組について、支援を行う				
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②	18市町村 勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き 定期的に実施	・共同点検に参加する				
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	②①	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・引き続き、水防資機材の確保を図る	令和3年度～ 順次実施	・引き続き、水防資機材の確保を図る				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②②	19市町村 勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的に実施	・水防訓練に参加する				
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・河川被害等の情報共有の方法について検討を行う ・情報伝達訓練に参加する	令和3年度～ 順次実施	・河川被害等の情報共有の方法について検討を行う ・情報伝達訓練に参加をする				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	②③	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・北海道地域防災マスター認定研修等を実施し、自主防災組織や地域防災リーダー育成に向けた支援を実施	順次実施	・北海道地域防災マスター認定研修等を実施し、自主防災組織や地域防災リーダー育成に向けた支援を実施				
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑬	18市町村 勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・市町村からの要請に応じ、自衛隊災害派遣要請等他の機関の災害派遣に係る活動内容及び場所等の調整	令和3年度～ 順次実施	・市町村からの要請に応じ、自衛隊災害派遣要請等他の機関の災害派遣に係る活動内容及び場所等の調整				
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑰	18市町村 勝総合振興局 帯広開発建設部	・作成した排水計画を協議会の場で共有	令和3年度～ 順次実施	・作成した排水計画を協議会の場で共有				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、支電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	④⑤⑥	17市町村 帯広開発建設部							

帯広市

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	②	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・備蓄資材の充実 ・拠点備蓄倉庫の新設	令和3年度 順次実施	・備蓄資材の充実 ・拠点備蓄倉庫の新設	・備蓄資材の充実			
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	②	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの周知・活用	令和3年度～	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの周知・活用	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの更新及びWEB版ハザードマップの作成 ・ハザードマップを掲載した防災ガイドの全戸配布。	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの周知・活用 ・ハザードマップ関連の防災動画を制作	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの周知・活用	
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8市 十勝総合振興局 帯広開発建設部						・出前講座、親子防災講座での周知 ・防災グッズ展での周知	
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画 ・避難所運営ゲーム(HUG)の実施	令和3年度～ 順次実施	・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画 ※SP	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画 ※SP ・避難所運営ゲーム(HUG)の実施			
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・新たな情報があれば、市民を対象にした防災講座にて周知を図る ・避難情報の効果的な周知方法の検討	令和3年度～ 順次実施	・新たな情報があれば、市民を対象にした防災講座にて周知を図った(避難指示1本化など)				
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・市民を対象にした防災講座やセミナーの開催 ・自主防災組織の設立や活動を支援	令和3年度～ 順次実施	・市民を対象にした防災講座やセミナーの開催 ・自主防災組織の設立や活動を支援				
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・市民等を対象にした防災講座やセミナーの開催	令和3年度 順次実施	・市民等を対象にした防災講座やセミナーの開催				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP等を通じた広報の充実を図る ・効果的な周知方法の検討	令和3年度～ 順次実施	・HP等を通じた広報の充実を図った ・効果的な周知方法の検討	・HP等を通じた広報の充実を図った ・防災ガイドを通じた周知の実施 ・効果的な周知方法の検討	・HP等を通じた広報の充実を図った ・効果的な周知方法の検討		・HP等を通じた広報の充実を図った ・効果的な周知方法の検討 ・水防協力団体と協力し、市民周知を実施
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

帯広市

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・SNSや緊急速報メール等を活用した情報提供 ・防災協定を締結している地元FMラジオ局を通じた災害時の情報提供	令和3年度 順次実施	・SNSや緊急速報メール等を活用した情報提供 ・防災協定を締結している地元FMラジオ局を通じた災害時の情報提供				
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を緊急速報メールや緊急情報一斉伝達システムにて配信	引き続き実施	・避難情報を緊急速報メールや緊急情報一斉伝達システムにて配信				
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫ ⑬⑭⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画について必要な見直しを行う ・災害対策本部の設置・運営マニュアルの作成及び訓練の実施、避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成、避難所運営マニュアルの改訂及び訓練の実施	令和3年度以降	・水防計画や避難指示等の判断・伝達計画(水害編)、避難所運営マニュアルの見直し				
気象情報発信時の「危険度」や「警報級」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部	・必要に応じて見直しを検討	令和3年度～ 順次実施	・必要に応じて見直しを検討				
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～ 順次実施	・取組を促進した				
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図った				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き 定期的に実施					
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	②⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・引き続き水防資機材の確保・充実を図る	令和3年度～ 順次実施	・H28台風被害の検証を行った(11/26) ・引き続き水防資機材の確保・充実を図った	・水防資機材の維持管理を行ったほか、貸出等が円滑に実施できるよう関係機関で情報共有を図った			
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的に実施					
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫ ⑬⑭⑯⑰ ②④⑤⑨	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・情報伝達訓練に参加する	令和3年度～ 順次実施	・情報伝達訓練に参加した				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	②⑩	19市町村	・消防団(水防団)への加入について、ポスター等による広報を行う	令和3年度～ 順次実施	・消防団(水防団)への加入について、ポスター等による広報を行った				
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・防災講座等を実施し、自主防災組織育成に向けた支援を実施する	令和3年度～ 順次実施	・防災講座等を実施し、自主防災組織育成に向けた支援を実施した				
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②⑪	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施した				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～ 順次実施	・関係機関と共同して、体制を確認した				
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑩⑫	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施					
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②⑪	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②⑨	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、家電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	④⑤⑨	17市町村 帯広開発建設部	・必要に応じて情報提供する	令和3年度～ 順次実施	・必要に応じた情報提供、避難確保計画の作成促進を実施した				

音更町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		R3	R4	進捗達成度		
			業務内容	時期			R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 優良対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門、樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・内水ハザードマップの作成 ・洪水ハザードマップの更新 ・広域ハザードマップの検討	必要に応じて実施 令和3年度	・内水ハザードマップの作成→検討中 ・洪水ハザードマップの更新(改訂)→R4.3更新(改訂)予定 ・広域ハザードマップの検討→検討中	・ハザードマップ(R4.3月)を町内全戸配布。また、防災ガイドブックを作成し、併せて全戸配布。	・WEB版ハザードマップの作成	・WEB版ハザードマップの更新(中小河川)	・洪水ハザードマップの更新・全戸配布 ・内水ハザードマップの作成・全戸配布 →いずれもR8予定
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備と周知の予定	必要に応じて実施 令和3年度	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備と周知の予定 →引き続き、必要に応じて整備を実施				・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備と周知の予定 →必要に応じて実施 ・まちごとまちごとハザードマップの取組の一環として、浸水想定深様式を設置 →R8予定
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績の洪水ハザードマップへの記載を検討	必要に応じて実施 令和3年度	・浸水実績の洪水ハザードマップへの記載を検討→検討中		・避難訓練等の実施	・避難訓練等の実施(浸水想定区域連合町内会による避難所開設・運営訓練) 帯広連治水課参加	・避難訓練等の実施(浸水想定区域連合町内会による避難所開設・運営訓練) →継続して実施
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑨	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	継続して実施 令和3年度→繰上実施	・避難訓練等の実施→検討中 ・避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画→検討中		・避難訓練等の実施 ・避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画		・避難訓練等の実施 ・避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画 →継続して実施
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪ ⑫⑬⑭ ⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	継続して実施 令和3年度→繰上実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施 →実施済み				・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施→継続して実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・出前講座、1日防災学校等により防災教育を実施	継続して実施 令和3年度→繰上実施	・出前講座、1日防災学校等により防災教育を実施 →実施済み				・出前講座、1日防災学校等により防災教育を実施 →継続して実施
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・住民と連携した防災訓練等の実施 ・個別避難計画策定に向けた関係者の連携促進 ・町内事業所のBCPの策定促進 ・地区防災計画策定の普及促進	継続して実施 令和3年度→繰上実施	・住民と連携した防災訓練等の実施→実施済み ・個別避難計画策定に向けた関係者の連携促進→関係機関と共に研修会を開催予定 ・町内事業所のBCPの策定促進→実施中 ・地区防災計画策定の普及促進→検討中	・個別避難計画策定に向けた関係者の連携促進→関係機関と共に研修会開催済、避難訓練を実施済	・地区防災計画に関する研修等(町事業防災士を対象に周知)実施中		・住民と連携した防災訓練等の実施→継続して実施 ・個別避難計画策定に向けた関係者の連携促進→継続して実施 ・町内事業所のBCPの策定促進→継続して実施 ・地区防災計画に関する研修等(町事業防災士を対象に周知)→継続して実施
関係機関の職員及び住民を対象とした水防に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加 ・マイ・タイムラインの普及促進	継続して実施 令和3年度→繰上実施	・関係機関が行う水防講習会に参加→参加済み(R3.11.26十勝川流域豪雨災害対策職員研修会等) ・マイ・タイムラインの普及促進→出前講座等を通じた普及促進を実施中				・関係機関が行う水防講習会に参加 →今年度実績なし →継続して実施 ・マイ・タイムラインの普及促進→継続して実施
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP、広報誌毎号の防災豆知識の充実を図る	継続して実施 令和3年度→繰上実施	・HP、広報誌毎号の防災豆知識の充実を図る →実施中				・HP、広報誌毎号の防災豆知識の充実を図る →継続して実施
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑯	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑯	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を緊急通報メールにて配信 → 災害発生時に配信を予定 ・防災無線等を活用した情報発信の強化 → 災害発生時に発信を予定	必要に応じて実施 引き続き実施	・避難情報を緊急通報メールにて配信 → 災害発生時に配信を予定 ・防災無線等を活用した情報発信の強化 → 災害発生時に発信を予定				・避難情報を緊急通報メールにて配信 → 災害発生時に配信を予定 ・防災無線等を活用した情報発信の強化 → 災害発生時に発信を予定
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画について必要な見直しを行う ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成	必要に応じて実施 令和3年度～順次実施	・水防計画について必要な見直しを行う → 検討中 ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 → 更新予定	・水防計画について必要な見直しを行う → 更新済 ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 → 作成中	・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 → 更新済		・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 → 必要に応じて更新予定
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑯	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・鈴蘭川浸水想定を踏まえた避難場所・方法の見直し	必要に応じて実施 令和3年度～順次実施	・鈴蘭川浸水想定を踏まえた避難場所・方法の見直し → 検討中	・浸水対策用止水板の整備 → 検討中	・浸水想定を踏まえた避難場所・方法の見直し → 検討中	・ハザードマップの更新済 → 避難場所・備蓄品の追加を検討中	・浸水想定を踏まえた避難場所・方法の見直し → 必要に応じて見直し予定
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	継続して実施 令和3年度～順次実施	・取組を促進する → 引き続き、必要に応じて支援を実施				・取組を促進する → 継続して支援を実施
円滑な避難・避難後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	継続して実施 令和3年度～順次実施	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る → 引き続き、実施				・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る → 継続して実施
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き 定期的に実施	・共同点検に参加する → 参加済み				・共同点検に参加する → 今年度実施なし
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、多様な情報共有し、貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	継続して実施 令和3年度～順次実施	・水防資機材の充実を図る → 引き続き、計画的な整備を実施				・水防資機材の充実を図る → 継続して実施
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑫	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的に実施	・水防訓練に参加する → R3中止・順延(新型コロナウイルス) → R4参加(引き続き定期的に実施)	・水防訓練に参加する → R4参加(引き続き定期的に実施)			・水防訓練に参加する → 今年度実施なし
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	継続して実施 令和3年度～順次実施	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施 → 引き続き、実施する				・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施 → 継続して実施
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	㉖	19市町村	・HPや広報誌での募集を検討する	継続して実施 令和3年度～順次実施	・HPや広報誌での募集を検討する → 検討中		・消防団(兼水防団)募集 動画の庁舎内上映中	・消防団(兼水防団)募集 動画の庁舎内上映中	・消防団(兼水防団)募集 動画の庁舎内上映中 → 継続して実施
自主防災組織や地域防災力 育 成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・防災士及び北海道地域防災マスター資格取得への補助を実施	継続して実施 令和3年度～順次実施	・防災士及び北海道地域防災マスター資格取得への補助を実施 → 引き続き、必要に応じて支援を実施				・防災士及び北海道地域防災マスター資格取得への補助を実施 → 継続して実施
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	④	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	継続して実施 令和3年度～	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施 → 引き続き実施する				・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施 → 継続して実施
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	継続して実施 令和3年度～順次実施	・関係機関と共同して、体制を確認する → 引き続き、協議会等の場において、災害時の出動要請の調整方法について確認				・関係機関と共同して、体制を確認する → 継続して実施
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑩⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	継続して実施 令和3年度～順次実施	・関係機関と共同して、排水計画を作成 → 作成に向け検討中				・関係機関と共同して、排水計画を作成 → 作成に向け検討中
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉗	10町村	・防災拠点の整備(新道の駅、道の駅公園)	継続して実施 令和3年度～	・防災拠点の整備(新道の駅、道の駅公園) → 実施中(R4.4整備完了予定)	・避難所開設、運営訓練の実施	訓練、機能強化等の実施		・浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進 → 継続して実施
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉘	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉙㉚㉛	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	継続して実施 令和3年度～順次実施	・拠点施設を選定の上、伝達する → 各種業務を通じて実施				・拠点施設を選定の上、伝達する → 継続して実施

士幌町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で作成と周知の予定	令和3年度～	防災ガイドブックに合わせて全世帯に配布 転入者に随時配付	令和4年12月末に防災ガイドブックに合わせて全世帯に配布した			
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備と周知の予定	令和3年度～ 順次実施	未定	令和4年12月末に防災ガイドブックに合わせて全世帯に配布した			
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績をハザードマップに記載し周知	引き続き実施	浸水実績をハザードマップに記載し周知	令和4年12月末に防災ガイドブックに合わせて全世帯に配布した			
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	自主防災組織や地域との避難訓練及び防災に係る講習等を実施していく	引き続き検討していく			
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	音更川洪水情報伝達訓練に参加				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・町内学校等への出前講座の実施	令和3年度～ 順次実施	町内学校等への出前講座の実施				
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・住民と連携した防災訓練等の実施	令和3年度～ 順次実施	自主防災組織や地域との避難訓練及び防災に係る講習等の実施を検討	部の自主防災組織と連携して実施			町の総合防災訓練として、自主防災組織や町民の参加型の訓練を実施。
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	未定				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP、広報誌等を活用した定期的な広報活動の実施	令和3年度～ 順次実施	未定				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確保	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑮⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・フェイスブックや緊急速報メールを活用した情報提供	引き続き実施	防災無線、フェイスブック、登録制メールでの情報提供の実施	防災無線、フェイスブック、LINE、登録制メールでの情報提供の実施			
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・緊急速報メールを活用した情報提供 ・防災行政無線を活用した情報発信の強化	引き続き実施	防災無線、フェイスブック、登録制メールでの情報提供の実施	防災無線、フェイスブック、LINE、登録制メールでの情報提供の実施			
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・現行水防計画は平成26年度平成30年度改定されたものであるが、随時改訂を行う(町外での堤防決壊等を想定した内容に見直し) ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成	令和3年度～ 順次実施	必要に応じ見直しを検討。	見直しを実施中。			
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	令和3年度～ 順次実施	必要に応じ見直しを検討。				
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・担当課と調整し、要配慮者施設における訓練の実施を検討する	令和3年度～ 順次実施	必要に応じ検討。 (現状浸水想定区域内に対象施設なし。)				今年度、想定最大規模の内容水による浸水想定区域図を作成
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	今後とも道路管理者との連携を高め情報の共有を行っていく				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き 定期的に実施	共同点検が実施される際に参加				
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	水防資機材の充実を検討				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的に実施	関係機関が実施する水防訓練に参加				帯広開発建設部が主催し、本別町で行われた水防訓練に職員が研修参加
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	連絡体制を構築し、伝達訓練を実施していく				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑳	19市町村	・消防団(水防団)への加入について、HP等を用いて広報を行う	令和3年度～ 順次実施	ホームページや広報での募集を実施していく	消防団(水防団)の加入者増	引き続き、ホームページや広報での募集を実施していく		
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・育成のための方策を検討する	令和3年度～ 順次実施	防災説明会や組織結成に向けた説明会を実施し、組織化を促す	自主防災組織の活動に係る助成金を整備	自主防災組織や地域防災リーダーの育成を促進	自主防災組織1団体増加 引き続き、自主防災組織や地域防災リーダーの育成を促進	自主防災組織1団体増加 引き続き、自主防災組織や地域防災リーダーの育成を促進
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～ 順次実施	関係機関と共同して、体制を確認する				
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑲⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	関係機関と共同して、体制を確認する				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉓	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、支店等、大規模工場、次等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～ 順次実施	必要に応じて拠点施設を選定の上、情報提供をする				

上士幌町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 経路的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・ハザードマップ(外水・内水)の整備促進	令和3年度～	・関係機関に対する浸水想定区域図の最新状況の確認 ・R4更新予定の防災ガイドマップ(ハザードマップ)の予算計上	・防災ガイドマップR4年度予算見送り、R5年度継続計上 ・中小河川指定・公表にともなう洪水浸水想定区域図について町ホームページで掲載	・R6.3改訂版の防災ガイドマップ(ハザードマップ)を全戸配布予定 (中小河川浸水想定区域図、土砂災害警戒区域等の更新)	・改訂版防災ガイドマップをR6.3に全戸配布 ・ハザードマップ/中小河川浸水想定区域の追加、土砂災害警戒区域等の更新について周知活動を実施中	
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する。	令和3年度～	検討の継続	・市街地における想定最大規模の浸水が0.5m未満であるためまるとまちごとハザードマップで行っている表示の必要性はないものと		浸水深より、まるとまちごとハザードマップの事業整備の必要はないものと判断	
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑪	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の制度向上に参画。	令和3年度～ 順次実施	・R4更新予定の防災ガイドマップへのタイムライン掲載による住民周知 ・各種防災訓練、教育を通じた啓発活動	・R5年度作成予定の防災ガイドマップへの掲載による住民周知 ・各種防災訓練、教育を通じた啓発活動を継続			
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 警察、自衛隊、消防 NHK、JRC 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・R3導入運用の町一斉情報配信システム(アットインフォカナル)を活用し防災気象情報(警報以上)を住民へ逐次、配信を実施	・関係機関が実施する情報伝達訓練への参加			
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・出前講座等により防災教育を実施	令和3年度～ 順次実施	・R3小学校、高校からの防災教育依頼にともない、学生への教育を実施	・洪水浸水想定区域図の中小河川指定・公表にともない各種訓練・教育において洪水リスクについての周知活動を実施			
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立に向けた支援を行う。	令和3年度～ 順次実施	・R3自主防災組織組織編出制度を整備し4団体が登録組 ・自主防災組織組織編成、登録に向けた支援を継続中	・R4年度自主防災組織1団体追加となり5団体が登録、登録団体の活動支援を随時実施 ・登録団体以外の活動支援を実施し、次年度登録に向け啓発中	・自主防災組織の組織・活動支援及び地域リーダー育成のため道が実施する道防災マスター制度について講習参加を奨励		
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加。	令和3年度～ 順次実施	・R3関係機関が実施する各種協議会、研修会(Web含む)へ参加	・各関係機関が主催する協議会、研修会(Web含む)へ参加			
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・広報誌を活用し水害等の情報提供をしていく。	令和3年度～ 順次実施	・H28の曹更川沿いの国道冠水(黒石平)を例に防災教育へ反映 ・大雨警報時には町一斉情報配信システムにおいて川へ近づかないよう注意喚起を実施	・ダム放流時の注意喚起を広報誌へ掲載 ・大雨警報時には町一斉情報配信システムにおいて川へ近づかないよう注意喚起を実施			
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

上士幌町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくするため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・町一斉情報配信システム、緊急速報メールを活用した情報提供。	引き続き実施	・町一斉情報配信システムを活用した情報提供継続中 ・利用者促進の周知活動	・一斉情報配信システムによる町民への防災気象情報(警報以上)の配信			
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画等については、必要があれば見直しを実施していく。 ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成	令和3年度～ 順次実施	・上士幌町地域防災計画の修正箇所の検討	・上士幌町地域防災計画の修正箇所の検討			
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する。	令和3年度～ 順次実施	・浸水想定区域図の最新状況の確認作業	・市街地における想定最大規模の深さが0.5m未満であるため検討した結果、見直しの必要なし	・市街地における洪水浸水対象河川を中心線とした住民避難経路及び避難場所の考察、安全経路の把握		
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・担当課と調整し、要配慮者施設における訓練の実施を検討する。	令和3年度～ 順次実施	・福祉避難所の整備に係る事項を保健福祉課とWeb研修などで認識共有	・保健福祉課と福祉避難所及び個別避難計画についての取組を促進中(研修会等への参加)			
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る。	令和3年度～ 順次実施	・平素からの道路管理者との連携を維持	・平素からの道路管理者との連携を維持			
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する。	引き続き 定期的に実施	・担当部署の確認及び点検実施時期等の把握	・担当部署の確認及び点検実施時期等の把握			
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る。	平成30年度～ 順次実施	・R3防災資機材及び備蓄品を分散保管から、力所に集積するように見直し実施	・消防署、消防団の保有する水防器材の把握			
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する。	引き続き 定期的に実施	・関係機関が実施する水防訓練への参加を継続	・音更川水防訓練への参加町長、防災担当、消防署、消防団	・関係機関が実施する水防訓練への参加を継続		
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・ダム管理者等との連絡態勢の確立済み ・ダム放流時等逐次、連絡受け	・ダム管理者と連絡態勢確立済み ・ダム放流時等逐次、連絡受け			
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑭	19市町村	・条例の規定に基づき、消防団(水防団)への加入について、HPや広報誌で募集を図る。	令和3年度～ 順次実施	・消防署担当で消防団(水防団)の維持、募集を継続中	・消防署担当で消防団(水防団)の維持、募集を継続中			
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・出前講座等により自主防災組織の設立、育成に向けた支援を実施。	令和3年度～ 順次実施	・自主防災組織組成活動と並行して支援を継続中	・自主防災組織組成支援中 ・道防災マスターの周知			
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	・各種システム及び電話機能の維持を継続中	・担当者による各種システム操作訓練の実施 ・災害時無停電話の取扱いについて避難所開設訓練等で周知			
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する。	令和3年度～ 順次実施	・総合振興局を通じて災害派遣調整等について行う旨を確認済み	・道庁の実施する自衛隊災害派遣手続きの研修会へ参加	・平素から各関係機関と派遣要請要領について確認		
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑱⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	・町としての必要性の検討と他市町村で行う場合の排水作業の研修(見識の取得)	・他市町村で行う排水作業等の研修へ参加し見識の向上を図る			
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	⑲	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑲	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する。	令和3年度～ 順次実施	・R3浸水想定区域内の拠点施設整備なし ・建築関係の情報収集	・拠点施設整備なし			

新得町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 経理的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・FAX等を用いた周知方法の再検討を実施 ・登録制のメール、電話、FAXの登録促進 ・災害備蓄資材の確保充実	令和3年度～	登録メールの登録者増加させるよう広報等で周知	▶▶			

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を緊急連絡メールにて配信するなど、情報発信の充実に向けた取組を進めていく ・登録制メールを活用し洪水予報があれば見直しを実施していく ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 ・河川管理者の有する情報の共有方法等を検討する ・必要に応じ、避難指示等の判断・伝達マニュアルの見直しを	引き続き実施	引き続き実施				引き続き実施
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・緊急避難所の新たな指定など、避難場所の充実を図っていく	令和3年度～ 順次実施	順次実施				R6.3.13に更新。以降順次実施
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・緊急避難所の新たな指定など、避難場所の充実を図っていく	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所との共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き 定期的に実施	引き続き定期的に実施				例年どおり
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるように検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・必要に応じ、水防資機材の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的に実施	引き続き定期的に実施				例年どおり
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、J.R 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑳	19市町村	・水害発生時に出動する機能別消防団の拡充に向け、広報していく	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災活動の普及に向けた財政的支援等を実施	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施				例年どおり
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑲⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村	・公共施設の防災機能の強化(役場庁舎建替、下水道雨水管の整備、二線堤等の整備検討)	令和3年度～	公共施設の防災機能の強化(役場庁舎建替、下水道雨水管の整備、二線堤等の整備検討)				R7.1.6新庁舎にて業務開始。非常用発電設備を設置(燃料補給し続けられ長期間運用可能)。排水に井戸水、トイレ使用可
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉔	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、J.R等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、必要に応じて情報提供する	令和3年度～ 順次実施	順次実施				例年どおり

芽室町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・同報系防災行政無線を整備し、戸別端末を配付希望世帯へ配付。	令和3年度～	戸別端末(防災ラジオ)を配付希望世帯へ配付				
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開弁や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・洪水ハザードマップの作成と周知	令和3年度～	洪水ハザードマップの周知				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する。	令和3年度～					
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績を記載した資料を作成し、周知を図る	令和3年度～					
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	防災行動計画(タイムライン)を用いた災害対策本部訓練の実施				
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪ ⑫⑮⑯ ⑰⑳	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・町民向け講習会を活用して洪水災害について説明する	引き続き実施	防災出前講座や防災教育を実施				
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・住民と連携した防災訓練の実施に向けた取組を推進する	令和3年度～ 順次実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練は未実施				10年前に被災した地区住民を対象とした防災訓練を実施。併せて北海道大学工学部研究部の能力を借りてSIP研究成果を地域住民の防災力向上のため活用した。 Doはく北海道2025を実施し、感染症対策、女性や要配慮者の視点、避難所の質の向上、広域避難等を踏まえた避難所運営を実施。
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・町広報誌や出前講座などを活用して、防災に係る言葉の意味や、発令内容による身の危険度などを周知 ・飼育動物などの避難所での取り扱い等を周知 ・マイ・タイムラインの普及促進	引き続き実施	・町広報誌や出前講座などを活用して、防災に係る言葉の意味や、発令内容による身の危険度などを周知 ・マイ・タイムラインの普及促進				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・関係機関と協力して対応する	令和3年度～ 順次実施	関係機関と協力して対応する				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度					
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7	
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部								
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部								
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部								
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・登録制メール、戸別端末、町HP、Facebook、緊急通報メールなどを活用した情報提供	引き続き実施	登録制メール、戸別端末、町HP、Facebook、LINE、緊急通報メールなどを活用した情報提供					
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を登録制メール、戸別端末、町HP、Facebook、緊急通報メールなどに配信	引き続き実施	避難情報を登録制メール、戸別端末、町HP、Facebook、LINE、緊急通報メールなどに配信					
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 ・災害時における河川の情報の共有方法等について、協議・調整する。 ・避難所開設・運営マニュアルを策定するの見直し	令和3年度～順次実施	避難情報に関するガイドラインの改正に伴い、地域防災計画を改正	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域の改正等に伴い、地域防災計画を改正	組織改正に伴うもの及び災害協定締結に伴うボランティアセンターに関する記載等に伴い、地域防災計画を改正	北海道地域防災計画の修正に伴い地域防災計画を改正	警報・注意報の基準変更、防災基本計画の修正等に伴い地域防災計画を改正	
気象情報発信時の「危険度」や「警報級」の現象の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)								
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で見直し	令和3年度～順次実施	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で見直し					
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～順次実施	今後も継続した取り組みの促進					
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	⑭⑯⑳㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～順次実施	通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る					
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	㉒	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き定期的に実施	共同点検に参加					
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～順次実施	水防資機材の充実を図る					
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き定期的に実施	水防訓練に参加する					
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～順次実施	連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施					
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	㉒	19市町村	・拡充を検討する	令和3年度～順次実施	今後も拡充を検討する					
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・育成のための方策を検討する	令和3年度～順次実施	防災に係る出前講座の実施や「めぐる共助の会」を設立し、自主組織組織の設立や防災「ダ」の育成に繋げている					
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施					
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害対策の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～順次実施	関係機関と共同した体制の確認					
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～順次実施	関係機関と共同した排水計画の作成					
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村								
水門、橋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉒	帯広開発建設部								
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項										
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉒㉓㉔	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～順次実施	対象となる施設に対し、防災体制の整備を呼び掛け、避難確保計画の作成及び訓練の実施					

清水町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・防災無線戸別受信機の配布率の向上 ・登録制のメル等への登録促進 ・災害備蓄資材の確保充実	令和3年度～	順次実施				
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づくハザードマップを全戸配布済み。引き続き周知を行うとともに、訓練等に活用する。	令和3年度～	必要に応じて実施				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまごハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・まるとまごハザードマップ整備に向けた検討を進める	令和3年度～	必要に応じて実施				
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・過去に被害を受けた河川について、防災マップに表示し周知を図る	令和3年度～	必要に応じて実施				
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	未実施				
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	順次実施				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・洪水の特徴や防災知識に係る住民チラシの配布を行う ・町内学校での防災学校の実施	令和3年度～ 順次実施	町内小中学校で一日防災学校を実施				
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・住民と連携した防災訓練の実施に向けた取組を推進する	令和3年度～ 順次実施	町民向けの防災訓練及び防災セミナー等を実施				
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	順次実施				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・例年実施している町の広報誌の防災に係る特集に、洪水をテーマにした内容を加える	令和3年度～ 順次実施	順次実施				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

中札内村

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㊸	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・防災行政無線のアナログをデジタル化に実施済 ・備蓄資材庫の整備	令和3年度～	・防災行政無線のアナログをデジタル化に実施済 ・備蓄資材庫の整備	→	・防災行政無線のアナログをデジタル化に実施済 ・備蓄資材の導入、入れ替えを実施	・防災行政無線のアナログをデジタル化に実施済 ・備蓄資材の導入、入れ替えを実施	・防災行政無線のアナログをデジタル化に実施済 ・備蓄資材の導入、入れ替えを実施
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㊴	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・洪水ハザードマップの整備促進	令和3年度～	・洪水ハザードマップの整備促進	→	R3 防災訓練等におけるハザードマップの周知活動実施	R3 防災訓練等におけるハザードマップの周知活動実施	R3 防災訓練等におけるハザードマップの周知活動実施
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を基に洪水ハザードマップを作成と周知	平成29年度					
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	→	・住民含めた防災訓練を実施	・住民含めた防災訓練を実施	・住民含めた防災訓練を実施
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	→	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・十勝川千代田実験水路見学会実施(対象:小学生、自主防災組織代表等)	令和3年度～ (関係団体と協議必要)	・十勝川千代田実験水路見学会実施(対象:小学生、自主防災組織代表等)	→	・防災教育等を実施	・防災教育等を実施	・防災教育等を実施
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の組織化拡大	令和3年度～ 順次実施	・自主防災組織の組織化拡大	→	自主防災組織拡大に向け、住民への説明を実施	自主防災組織拡大に向け、住民への説明を実施	自主防災組織拡大に向け、住民への説明を実施
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	・関係機関が行う水防講習会に参加	→	・防災訓練時に防災に関する講話実施	・防災訓練時に防災に関する講話実施	・防災訓練時に防災に関する講話実施 ・地元企業や各行政区単位での出前講座などを積極的に実施
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・広報紙を活用した水害等の対策周知	令和3年度～ 順次実施	・広報紙を活用した水害等の対策周知	→	・広報にて防災特集等を実施	・広報にて防災特集等を実施	・広報にて防災特集等を実施
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

中札内村

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・防犯等のメール登録者を増やす取組継続	引き続き実施	・防犯等のメール登録者を増やす取組継続	→	・村民メール、INE登録者数の増加へ向けたアプローチを実施	・村民メール、LINE登録者数の増加へ向けたアプローチを実施	・村民メール、LINE登録者数の増加へ向けたアプローチを実施
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難勧告指示をスマホ、エリアメールで配信	令和3年度～順次実施	・避難勧告指示をスマホ、エリアメールで配信	→	・SNSを含めた情報発信の多角化を計画	・SNSを含めた情報発信の多角化を計画	・SNSを含めた情報発信の多角化を計画
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・札内川ダムの放流量を踏まえた、地域防災計画や防災マニュアル(職員用)の見直し、避難指示判断・伝達計画(水害編)の作成 ・防災訓練等の実施	令和3年度～順次実施	・札内川ダムの放流量を踏まえた、地域防災計画や防災マニュアル(職員用)の見直し、避難指示判断・伝達計画(水害編)の作成 ・防災訓練等の実施	→	・地域防災計画の見直し、職員マニュアルの作成	・地域防災計画の見直し、職員マニュアルの作成	・地域防災計画の見直し、職員マニュアルの作成
気象情報発信時の「危険度」や「警報級」の現象の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を基に洪水ハザードマップを作成し、一部見直しを検討	令和3年度～順次実施	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を基に洪水ハザードマップを作成し、一部見直しを検討	→	R3にハザードマップを作成、マップに基づく避難方法等を随時見直し	R3にハザードマップを作成、マップに基づく避難方法等を随時見直し	R3にハザードマップを作成、マップに基づく避難方法等を随時見直し
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・対象施設の取組促進	令和3年度～順次実施	・対象施設の取組促進	→	・必要に応じ、取組支援実施	・必要に応じ、取組支援実施	・必要に応じ、取組支援実施
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・道路管理者との連携強化	令和3年度～順次実施	・道路管理者との連携強化	→	・道路管理者との連携強化へ向けて引き続き取組実施	・道路管理者との連携強化へ向けて引き続き取組実施	・道路管理者との連携強化へ向けて引き続き取組実施
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所での共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き定期的に実施	・共同点検に参加する	→	・定期的な共同点検を実施	・定期的な共同点検を実施	・定期的な共同点検を実施
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等円滑に実施できるよう検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～順次実施	・水防資機材の充実を図る	→	・水防資機材の整備、追加を実施	・水防資機材の整備、追加を実施	・水防資機材の整備、追加を実施
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き定期的に実施	・水防訓練に参加する	→	・水防訓練への参加を実施	・水防訓練への参加を実施	・水防訓練への参加を実施
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～順次実施	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	→	・連絡体制の整備を実施	・連絡体制の整備を実施	・連絡体制の整備を実施
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑳	19市町村	・消防団員の拡充推進	令和3年度～順次実施	・消防団員の拡充推進	→	消防団員の拡充を実施	消防団員の拡充を実施	消防団員の拡充を実施
自主防災組織や地域防災力の育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災組織の組織化拡大	令和3年度～順次実施	・自主防災組織の組織化拡大	→	事象防災組織の拡大を実施	事象防災組織の拡大を実施	事象防災組織の拡大を実施
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	→	・被災情報等の連絡体制の構築を実施	・被災情報等の連絡体制の構築を実施	・被災情報等の連絡体制の構築を実施
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～順次実施	・関係機関と共同して、体制を確認する	→	・関係機関と共同して、体制の確認を実施	・関係機関と共同して、体制の確認を実施	・関係機関と共同して、体制の確認を実施
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑲⑳㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～順次実施	・関係機関と共同して、排水計画を作成	→	・排水計画の策定に向け検討	・排水計画の策定に向け検討	・排水計画の策定に向け検討
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村	・公共施設の防災機能の強化	令和3年度～					
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉓	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部	・自衛水防組織化推進 ・避難訓練の実施	令和3年度～順次実施	・自衛水防組織化推進 ・避難訓練の実施	→	・避難確保計画等の策定を支援	・避難確保計画等の策定を支援	・避難確保計画等の策定を支援

池田町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・アナログ式防災行政無線からデジタル式に更新を図るとともに、個別受信機の整備を行う。 ・備蓄資材庫の整備	令和3年度～	・防災無線基地局を整備済。 ・防災備蓄品を整備済	・防災無線配布済 ・防災備蓄品を整備済	継続して防災無線を運用 やフリー防災アプリとの連携 (R5年度中)	継続して防災無線を運用	
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図の公表及び土砂災害警戒区域等の指定が全てなされた段階で作成と周知を行う	令和3年度～	今年度作成	周知の実施	周知の実施 (R7に改定予定)	周知の実施 (R8に改訂予定)	周知の実施 (R8に改正予定)
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・まるとまるとハザードマップ整備促進	令和3年度～	実施済		未実施		
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑪	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	避難訓練の実施を検討 実施に向けた準備		避難訓練の実施 (R5年度2月)	R7.9に水害想定避難訓練を実施予定	避難訓練の実施 (R7.9水害訓練、R7.12地震訓練)
各構成員の出発時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JRC 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	実施の検討				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・自主防災組織等による研修会を活用し説明を行う	令和3年度～ 順次実施	実施の検討		自主防災組織を対象に研修会を実施		
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立や活動支援を行う	令和3年度～ 順次実施	自主防災組織の設立や活動支援を行う		R7に集団避難バス運行予定 (1月25日、釧路市)	R7.9に実施した水害訓練の際に、事前に町内会で停留所を決めて集団避難バスを運行した。	R7.9に実施した水害訓練の際に、事前に町内会で停留所を決めて集団避難バスを運行した。
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加 ・マイ・タイムラインの普及促進	令和3年度～ 順次実施	実施の検討		北海道地域防災マスター認定研修会受講	市民防災ワンデーセミナー (1月25日、釧路市) 受講	防災・減災対策研修 (7月16日、札幌市) 受講
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP等を通じて広報の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	実施の検討				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

池田町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・「Yahoo! 防災速報」等のスマホアプリの導入を呼びかける ・防災メール、防災行政情報伝達システム、防災行政無線等を活用した情報発信の強化	令和3年度～	自主防災組織の研修会等で、防災速報アプリの導入の呼びかけを実施				
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・現行水防計画は古い計画のため、改訂を行う ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 ・避難所運営マニュアル、職員初動対応マニュアルの整備及び防災訓練の実施	令和3年度～ 順次実施	地域防災計画の改正を行う		職員初動対応マニュアルの改正	避難所配備態勢の再編成	
気象情報発信時の「危険度」や「警報級」の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・避難路、避難場所の整備や避難計画の見直し	平成28年度～ 平成30年度	避難所の見直しを検討		避難路再整備計画策定による避難所の見直し(R5 R6)	利別地区避難路等再整備計画の策定	
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～ 順次実施	全施設作成を目指す取組を進める			ケアマネからの意見導入対象者の見直し	
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②④	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き定期的に実施	水防連絡協議会下流域方部会合同巡視に参加		未実施	樋門箇所の確認	
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	④	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	水防資機材の整備済				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑤	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き定期的に実施	実施の検討		消防水防訓練に参加		
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	実施の検討				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑲	19市町村	・消防団(水防団)への加入について、HP等を用いて広報を行う	令和3年度～ 順次実施	実施済				
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自治会等の会議において組織設立に向けた支援内容の説明を行う	令和3年度～ 順次実施	制度周知の実施				
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	実施の検討				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～ 順次実施	11月の大雨災害時にポンプ車を要請した		実施の検討		
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑱⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	実施の検討				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②	10市町村	・施設耐水化の促進を検討する	令和3年度～ 順次実施	実施の検討				
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑲	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	⑲⑳㉑	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～ 順次実施	実施の検討				

幕別町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・幕別地区の防災無線の導入 (令和3年度から運用開始)	令和3年度～	・令和3年4月1日防災行政無線運用開始	継続して無線を運用している。			継続して無線を運用している。
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水ハザードマップは令和2年7月全戸へ配布済み。出前講座などを通じて住民へ内容を周知していく。	令和3年度～	・出前講座により住民への周知をしている。	令和5年8月にハザードマップを改訂、全戸配布を行った。		出前講座により住民への周知をしている。	出前講座により住民への周知をしている。
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・避難所表示看板の更新等と合わせてまことまちごとハザードマップの整備に取り組む。	令和3年度～ 順次実施	・R3.11まことまちごとハザードマップの看板を設置(全33箇所)	R4.10に対象箇所すべてに設置完了。			R4.10に対象箇所すべてに設置完了。
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・洪水氾濫危険区域図の活用による地域防災計画の見直し	令和3年度～	・中小河川の浸水想定区域指定後に避難所等の見直しも含め対応(R5年度予定)	中小河川の浸水想定区域を指定、避難所等の見直しを実施し、地域防災計画の更新を行った。		出前講座により住民への周知をしている。	出前講座により住民への周知をしている。
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の策定及び精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)は、策定・公表済み。 ・水害を想定した避難訓練は実施していない。				・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)は、策定・公表済み。 ・水害を想定した避難訓練は実施していない。
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・R3.11時点では未実施	未実施	同左	同左	同左
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・新たな情報があれば、住民を対象にした出前講座で周知を図る	令和3年度～ 順次実施	・水害についての出前講座は実施しているため、新たな情報があれば合わせて周知していく。				・水害についての出前講座は実施しているため、新たな情報があれば合わせて周知していく。
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立に向けた支援を行う	令和3年度～ 順次実施	・自主防災組織1組織設立、現在2地区で設立に向けて検討中	現在2地区で設立に向けて継続して検討中	3月に1組織設立予定。ほか2地区で設立に向けて継続して検討中。	2地区で設立に向けて検討中。	1地区で設立済、その他1地区で年度内の設立に向けて検討中。
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加 ・緊急連絡メール配信訓練の実施 ・マイタイムライン作成講習会を実施し、普及促進を図る。	令和3年度～ 順次実施	・コロナ禍により実施できていない。	町民団体が主催する講演会で町職員が講師を務めた。		未実施	未実施
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HPや広報紙等を通じて広報の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	・HPや広報紙等で防災に関する記事を毎月掲載している。				・HPや広報紙等で防災に関する記事を毎月掲載している。
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

幕別町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・防災行政無線、LINE、防災情報メールを活用した情報の配信	令和3年度～ 順次実施	・防災行政無線、LINE、防災情報メールを活用し迅速に情報を配信する体制となっている。				・防災行政無線、LINE、防災情報メールを活用し迅速に情報を配信する体制となっている。
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・防災行政無線、LINE、防災情報メールを活用して配信	引き続き実施	・防災行政無線、LINE、防災情報メールを活用し迅速に情報を配信する体制となっている。				・防災行政無線、LINE、防災情報メールを活用し迅速に情報を配信する体制となっている。
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 ・災害対応マニュアルの早期見直し及び本部運営訓練等を実施 ・河川管理者の有する情報の共有方法等を検討する	令和3年度～ 順次実施	・年度内に災害対策基本法の一部改正に伴う防災計画及び水防計画の見直しを実施する予定。 ・職員向けの避難所運営マニュアル等の見直しを実施。	防災計画・水防計画の見直しを完了。	地域防災計画・水防計画の見直しを実施。現在避難所運営マニュアル等、災害発生時のマニュアルの改訂を検討。	・災害対策本部設置訓練の実施及び設置指示書の見直しを実施。 ・地域防災計画・水防計画の見直しを実施予定。	・避難所開設訓練及び災害対策本部設置訓練の実施並びに設置指示書の見直しを実施。 ・地域防災計画・水防計画の見直しを実施予定。
気象情報発信時の「危険度」や「警報級」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき見直し	令和3年度～ 順次実施	・中小河川の浸水想定区域指定後に避難所等の見直しも含め対応(R5年度予定)	令和5年度に完了する予定で作業を継続。	町が独自に作成した忠類地域の4河川の洪水氾濫危険区域図および中小河川の浸水想定区域図を基に避難所の見直しを実施。	必要に応じて見直しを検討。	必要に応じて見直しを検討。
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～ 順次実施	・避難確保計画作成を促進し、作成率100%となった。 ・訓練等の実施を促進していく。	新たに対象施設が増加したため、計画作成を促す。			未作成施設に作成を促し、年度末までには作成率100%となる見込み。
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②③④⑤⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	・引き続き連携していく。				・引き続き連携していく。
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所での共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き 定期的に実施	・共同点検に参加した。	・共同点検に参加する			・共同点検に参加する。
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるように検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	・必要に応じて水防資機材を調達していく。				・必要に応じて水防資機材を調達していく。
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的に実施	・今年度の水防演習は延期	音更川水防演習に参加。	今年度は参加せず。	同左	同左
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・情報伝達訓練は実施していない。				・情報伝達訓練は実施していない。
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑳	19市町村	・町HPや広報紙での募集を行うなど、組織の維持・拡充に向けた取組を検討する	令和3年度～ 順次実施	・当町では水防団を置いていないことから消防団が兼務している。消防団の募集はHPに掲載している。				・当町では水防団を置いていないことから消防団が兼務している。消防団の募集はHPに掲載している。
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災組織の設立及び育成のための方策を検討する	令和3年度～ 順次実施	・町内の防災士や北海道地域防災マスターとの意見交換会を開催した。	町内防災士、防災マスター参加のもと、地元小学校で1日防災学校を実施した。	町内防災士・防災マスターの参加を含めた冬季訓練を検討中		町内防災士・防災マスターの参加を含めた冬季訓練を検討中
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	・関係機関との連絡体制は構築されているため、発生時には情報共有により効果的な救助活動につなげる。				・関係機関との連絡体制は構築されているため、発生時には情報共有により効果的な救助活動につなげる。
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～ 順次実施	・今年度、実際に排水ポンプ車を要請した場面があった。引き続きスムーズな対応が出来るよう連絡体制を確認する。	災害派遣についての研修に参加し、調整方法の確認を行った。	未実施	同左	同左
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑲㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	・引き続き排水計画の作成について検討していく。				・引き続き排水計画の作成について検討していく。
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村	・施設耐水化を検討する	令和3年度～ 順次実施	・引き続き耐水化を検討していく。				・引き続き耐水化を検討していく。
水門、格門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉓	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～ 順次実施	・引き続き各施設へのリスク説明、情報提供を実施していく。				・引き続き各施設へのリスク説明、情報提供を実施していく。

豊頃町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で作成と周知の予定	令和3年度～	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で作成と周知			R4年度に改定のうえ、全世帯に配布済み	R4年度に改定のうえ、全世帯に配布済み
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまごハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備	令和3年度～					
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績を記載した資料を作成し、周知を図る	令和3年度～				ハザードマップの見直しはR4年度に完了し全戸配布済み	
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑪	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・関係機関との情報伝達訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	関係機関との情報伝達訓練等の実施			タイムラインの策定・確立に向けた情報収集等実施	タイムラインの策定・確立に向けた情報収集等実施
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施			未実施のため、次年度以降の実施を検討	未実施のため、次年度以降の実施を検討
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・自主防災組織や学生等を対象とした防災教育に取り組んでいく	令和3年度～ 検討	自主防災組織や小中学生等を対象とした防災教育に取り組む			自主防災組織への情報提供実施(一部) 小中学生に対する防災教育の実施について次年度以降で検討	自主防災組織への情報提供実施(一部) 児童の保護者向けの防災教育交歓会を実施 小中学生に対する防災教育の実施について次年度以降で検討
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・地域自主防災組織の育成・強化	令和3年度～ 順次実施	地域自主防災組織の育成・強化			R5年度末、1団体自主防災組織を設立 自主防災組織での訓練等に出席・資料提供	自主防災組織での訓練等に出席・資料提供
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	関係機関が行う水防講習会等に参加				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・ホームページ等により広報の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	ホームページ等により広報の充実を図る				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

豊頃町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK			必要に応じて情報提供を実施				
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信を行っていく ・防災無線等を活用した情報発信の強化	令和3年度～	豊頃町での洪水情報の配信について広報紙による住民への周知				
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成	令和3年度～順次実施	避難勧告等の判断・伝達計画(水害編)の作成及び必要に応じ水防計画の改定			各種防災関連計画の改訂に係る検討を実施	各種防災関連計画の改訂に係る検討を実施
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図により避難所・避難路等のハザードマップの作成・見直しを実施する ・避難路の整備	令和3年度～順次実施	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図により避難所・避難路等のハザードマップの作成・見直しを実施する			ハザードマップの見直しはR4年度に完了 避難路の整備を継続実施	
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・担当課と調整し、要配慮者施設における訓練の実施を検討する	令和3年度～順次実施	担当課と調整し、取組を促進する			緊急時の避難に関する意見交換等を実施	
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②③④⑤⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～順次実施	通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き定期的に実施	共同点検に参加				
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるように検討を実施	②⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防団・河川管理者と協議しながら適切に資機材の充実を図る	引き続き定期的に実施	定期的に確認、実施				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・関係機関が行う水防訓練に参加する	引き続き定期的に実施	関係機関が行う水防訓練に参加				
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制を確保し、毎年情報伝達網の確認を行う	令和3年度～順次実施	連絡体制を確保し、毎年情報伝達網の確認				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	②⑩	19市町村	・町HP及び広報誌での募集を検討する	令和3年度～順次実施	水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進				
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災組織の育成・強化を図る	令和3年度～順次実施	自主防災組織の育成・強化を図る			R5年度1組織設立	自主防災組織の育成・強化を図る
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑬	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関との連絡体制の確認	令和3年度～順次実施	関係機関との連絡体制の確認				
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～順次実施	関係機関と共同して、排水計画を作成を検討				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②⑩	10町村	・施設耐水化を検討する	令和3年度～順次実施	施設耐水化を検討中				
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②⑩	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	②④⑤⑥	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～順次実施	必要に応じて情報提供を実施				

本別町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で作成と周知の予定	令和3年度～	次年度更新予定。	R4.12に改訂。全世帯配布。	全世帯に配布済み	全世帯に配布済み	全世帯に配布済み
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備	令和3年度～	次年度整備予定	未着手	未着手	未着手	未着手
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～	順次実施	災害図上訓練の実施。	災害図上訓練の実施。 短時間大雨災害を想定した住民避難訓練の実施。	未実施	未実施
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑤⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～	順次実施	未実施	気象台との気象防災ワークショップの実施	5/15、池田河川事務所と洪水対応演習を実施	未実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・専門の講師を招き、浸水害の対応について防災教育を実施	令和3年度～	職員による防災教育の実施	町内各小中学校にて職員による防災教育の実施	町内各小中学校にて役場職員による防災教育の実施。	町内各小学校にて役場職員による防災教室の実施	町内各小学校にて役場職員による防災教室の実施
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の体制強化を図るため避難訓練及び研修会を実施	令和3年度～	順次実施	未実施	町内自治会での防災講話の実施	町内自治会での避難訓練へのアドバイス・参加。	各自治会での避難訓練へのアドバイス・参加
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～	順次実施		音更川水防演習に参加		
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・広報紙等で「避難準備情報」発令時の対応など、洪水をテーマにした特集を図る	令和3年度～	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑤	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を緊急通報メールにて配信 ・防災行政無線を活用した情報発信の強化	引き続き実施	実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・避難指示等の判断・伝達計画(水害権)の作成	令和3年度～	水害に対する、防災マニュアルの修正	水防計画の修正	水防計画の修正	未着手	水防計画の修正
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で見直し	令和3年度～順次実施	地域防災計画修正に伴う避難場所の見直し	検討中	検討中	検討中	検討中
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～順次実施	関係施設への取り組み促進。	関係部局への取り組み促進	策定済み	策定済み	策定済み
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	⑭⑯⑰⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～順次実施	災害情報の共有等連携	国・道からの情報を関係部局に共有・連携	国・道からの情報を関係部局に共有・連携	国・道からの情報を関係部局に共有・連携	国・道からの情報を関係部局に共有・連携
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所での共同点検を実施	⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き定期的実施	実施	未実施	未実施	未実施	未実施
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～順次実施	地域防災計画修正に伴う水防資機材の確認。充実を図る	R5.2の地域防災計画修正に伴い水防資機材の確認・充実を図る	地域防災計画の修正に伴う水防資機材の確認・充実を図る	地域防災計画の修正に伴う水防資機材の確認・充実を図る	地域防災計画の修正に伴う水防資機材の確認・充実を図る
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き定期的実施	・近隣町村の訓練に参加	十勝川水系音更川総合水防演習総合水防訓練に参加	不参加	令和6年度水防技術講習会に参加	不参加
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～順次実施	未実施	未実施	ダムとの情報伝達訓練の実施	未実施	未実施
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	㉔	19市町村	・広報紙等で加入拡充を図る	令和3年度～順次実施	広報、ポスター等での周知	実施	広報・ポスター等での周知	実施	実施
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・育成のための方策を検討する	令和3年度～順次実施	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	大雨等被害が出た際の情報伝達方法について検討中	検討中	検討中	検討中	検討中
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～順次実施					
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑱㉖	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～順次実施					
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉗	10町村	・施設耐水化を検討する ・公共施設の防災機能の強化	令和3年度～順次実施	施設耐水化の検討	検討中	検討中	検討中	検討中
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉘	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、J等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉙㉚㉛	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～順次実施	拠点施設の選定	選定し、事前説明、情報提供済み	済み	済み	済み

浦幌町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑤⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑤⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・防災情報伝達システムの構築	令和3年度～	○防災情報伝達システムの構築 ・令和3年7月より運用開始 ・LINE、メール、電話への斉送信	○事前登録の推進	○事前登録の推進	○防災行政無線をデジタル電波網によるものから携帯電話網によるものに更新	○防災アプリの普及推進
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で作成と周知の予定	令和3年度～	○ハザードマップ改訂業務を完了予定	○町内全戸配布	○WEB版ハザードマップの公開	○防災講話などを通じたWEB版ハザードマップの周知	○防災講話などを通じたハザードマップの活用周知
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまことハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備	令和3年度～	○ハザードマップ改訂業務を完了予定	○町内全戸配布	○避難所誘導看板の更新	○町内公共施設に洪水時における浸水深を表示した看板を設置	○実績なし
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績を記載した資料を作成し、周知を図る	令和3年度～	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑫	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	○避難所設営実技訓練(4/27) ・全職員対象 40名出席 ○災害対策本部訓練(10/21) ・課長職級対象 14名出席	○防災対策基礎研修会(6/24) ・初級職員(経験年数1～5年)対象	○避難所設営実技訓練(4/27) ・全職員対象 40名出席	○水害に関する防災講話(7/25) ・全職員対象 56名出席	○実績なし
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JRR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・関係機関と連携し、実施に向けて検討を進める	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○町内小学校の授業の一環として、洪水の浸水想定及び避難方法に関する防災教室を実施	○実績なし	○実績なし
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立や活動支援を行う	令和3年度～ 順次実施	○上浦幌中央小学校防災講師(10/26) ・生徒及び教職員等対象 40名出席 ○上浦幌寿大学教養講座講師(11/1) ・上浦幌地区高齢者対象 20名出席	○厚内地区防災避難訓練(5/12) ○中央公民館講座(6/23) ○上浦幌中学校(11/4) ○上浦幌寿大学教育講座(11/7)	○厚内地区防災避難訓練(5/12) ○上浦幌寿大学教育講座(9/28) ○浦幌中学校防災教室(11/5) ○老人クラブ連合会いきいき交流研修会(8/25)	○浦幌町女性連合会 夢講座(6/24) ○上浦幌寿大学(10/7) ○浦幌中学校防災教室(11/5) ○上浦幌中学校防災教室(11/14)	○南町茶話会(11/7) ○社会福祉大会(11/08)
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
住民の水防災害意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP等を通じた広報の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	○町広報誌を活用し、防災情報を周知	○町広報誌を活用し、防災情報を周知	○実績なし	○町広報誌において、洪水に関する注意喚起記事を掲載	○実績なし
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を緊急速報メールにて配信	引き続き実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし ※実災害時は戸別訪問にて対応した。
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 十勝開発建設部 警察 消防	・現行水防計画は古い計画のため、改訂を行う ・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の見直し	令和3年度～ 順次実施	○地域防災計画の改定 ○業務継続計画(BCP)の新規策定	○実績なし	○実績なし	○地域防災計画の改定	○警報発令時の対策作業内容の精査・作業一覧を作成開始
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で見直し	令和3年度～ 順次実施	○ハザードマップ改訂業務を完了予定	○町内全戸配布	○交通弱者等に関する個別避難計画の検討	○実績なし	○実績なし
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～ 順次実施	○災害対策基本法改定に伴う福祉避難所の指定 ・2箇所(保健福祉センター、養護老人ホーム)	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	○大雨警報等に伴う道通・町道の通行止め情報の周知 ・防災情報伝達システムを活用し 斉配信	○事前登録の推進	○実績なし	○実績なし	○災害時メーリングリストの作成
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所での共同点検を実施	②⑤	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き 定期的に実施	○池田河川事務所と合同巡視(7/30) ・町2名(防災担当職員、浦幌消防職員) ・十勝川堤防(朝日)右岸側 水位観測地点	○実績なし	○実績なし	○共同点検への参加	○共同点検への参加
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し出し等が円滑に実施できるように検討を実施	②④	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	○随時実施	○随時実施	○随時実施	○随時実施	○随時実施
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑥	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的に実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○河川事務所開催の水防訓練に参加
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯②④⑤⑥	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	②⑥	19市町村	・拡充を検討する	令和3年度～ 順次実施	○随時実施	○随時実施	○随時実施	○随時実施	○随時実施
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・育成のための方策を検討する	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○各自主防災組織における活動報告会の実施	○各自主防災組織との意見交換会を実施
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②④	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の炎対車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑬	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～ 順次実施	○随時実施	○随時実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑦②	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の配水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②③	10市町村	・施設耐水化の促進を検討する ・公共施設の防災機能の強化	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②④	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、家電、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	④⑤⑥	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～ 順次実施	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし	○実績なし

鹿追町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河堤掘削 浸食対策 排水機場設置 継続的な河堤等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・防災行政無線のアナログをデジタル化へ検討	令和3年度～	他の情報伝達手段も含め、継続協議中				令和8年3月末、防災行政無線のアナログからデジタル化への移行完了
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	令和3年度～			保存版ハザードブック(R6.6)の町内全戸配布		保存版ハザードブック(R6.6整備完了)を活用し、防災教室等での周知・活用
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、整備の必要性を検討する	令和3年度～					市街地における想定最大規模の洪水の深さが0.5m未満であるため、まちごとハザードマップの事業整備の必要性はないものと判断
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑨	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	防災行動計画(タイムライン)の策定に向けた検討				出前講座、防災訓練・教育等を通じた啓発活動の継続
各構成員の出水時等の情報共有体制を確保するための、情報伝達訓練を実施	⑥⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	情報伝達訓練の実施				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・関係機関と連携し、実施に向けて検討を進める	令和3年度～ 順次実施	関係機関との協力体制の構築と実施に向けた検討				
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・地域自主防災組織の育成・強化	令和3年度～ 順次実施	自主防災組織の強化に向けた研修会の開催に向けた検討				
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	・関係機関が行う水防講習会に参加				
住民の水防意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HPや広報紙を活用し水害等の情報提供をしていく	令和3年度～ 順次実施	町広報紙等を活用した防災・減災に関する情報提供				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部									
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部									
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部									
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK									
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を緊急連絡メールにて配信	引き続き実施	緊急時には、町アプリ等情報伝達システムを活用した避難情報等を配信する						
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成、見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画が古く、更新されていない為、見直し等を検討	令和3年度～順次実施	地域防災計画の見直しに向けた検討						
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)									
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	令和3年度～順次実施	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、更新の必要性を検討する				保存版ハザードブック(マップ)の更新及び全戸配布	保存版ハザードブック(R6.6整備完了)を活用し、防災教室等での周知・活用	
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～順次実施	取組を促進する						
円滑な避難・応接後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～順次実施	通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る						
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	令和3年度～順次実施	共同点検に参加する						
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等円滑に実施できるように検討を推進	②⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・消防署・消防団(水防団)・河川管理者と協議しながら適切に資機材の充実を図る	令和3年度～順次実施	消防署・消防団(水防団)・河川管理者と協議しながら適切に資機材の充実を図る						
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	令和3年度～順次実施	水防訓練への参加促進						
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築と整備を行う	令和3年度～順次実施	連絡体制の再確認と訓練への参加						
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	②⑨	19市町村	・消防団(水防団)への加入について、広報誌を用いて募集を行う	令和3年度～順次実施	消防団(水防団)への加入について、広報誌等により募集を行う						
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災組織の育成・強化を図る	令和3年度～順次実施	自主防災組織の強化に向けた研修会開催に向けた検討					年2回の防災委員研修会を通じた自主防災組織の育成・強化を図る。	
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～順次実施	被災情報等の連絡体制の確認と必要に応じて情報共有を実施する						
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害活動に係る関係機関との調整方法について確認	①⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～順次実施	関係機関と共同して、体制を確認する						
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑲⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～順次実施	関係機関と共同して、排水計画作成に向けた検討						
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②②	10市町村									
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②⑨	帯広開発建設部									
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項											
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	②④⑤⑥	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の、伝達する	令和3年度～順次実施	浸水想定区域内のリスク確認と必要な情報提供を行う						

更別村

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㊸	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局					・継続して防災行政無線を運用している。 ・引き続き戸別受信機を、転入者等の希望者へ配布を継続。 ・防災備蓄資材等の充実		
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㊸	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	令和3年度～ 順次実施	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する		・想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域の指定に基づく洪水ハザードマップの委託業務を行い、年度末までに完成予定。その後、住民への全戸配布を行う。	・5月末までに全戸配布完了(町内会未加入者へ配布) ・転入者においても窓口にて配布。	転入者に窓口にて配布
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	令和3年度～ 順次実施	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する				
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑪	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	R3年度に実施した町村から避難訓練方法を学び新年度に実施予定	11/13に、上更別区の住民を対象とした防災訓練を実施。災害により、第二避難所への避難を想定した訓練を実施。	・小学校、高校で避難訓練を伴う 日防災学校を行い、赤十字奉仕団等との関係機関と連携した訓練を実施した。	・中学校、高校で避難訓練を伴う 日防災学校を行い、赤十字奉仕団等との関係機関と連携した訓練を実施した。	
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	R3年度に実施した町村から避難訓練方法を学び新年度に実施予定			・気象台との気象防災ワークショップの実施(南十勝)	
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・出前講座等により防災教育を実施	令和3年度～ 順次実施	防災計画の見直しに併せて防災マップを新年度に作成予定		・防災マップを兼ねた洪水ハザードマップの新規作成。 ・小学校、高校で一日防災学校の実施。	・中学校、高校で一日防災学校の実施。	
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・住民と連携した防災訓練の実施に向けた取組を推進する	令和3年度～ 順次実施	R3年度に実施した町村から避難訓練方法を学び新年度に実施予定	11/13に、上更別区の住民を対象とした防災訓練を実施。災害により、第二避難所への避難を想定した訓練を実施。	・小学校、高校で避難訓練を伴う 日防災学校を行い、赤十字奉仕団等との関係機関と連携した訓練を実施した。	・中学校、高校で避難訓練を伴う 日防災学校を行い、赤十字奉仕団等との関係機関と連携した訓練を実施した。	
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	・関係機関が行う水防講習会が無かったため、新年度に周知予定				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)							
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を緊急速報メールにて配信	引き続き実施	・避難情報を緊急速報メールにて配信			・LINEでの配信も検討中(令和7年度開始予定)	・LINEにて配信開始
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・村地域防災計画や防災マニュアル(職員用)の作成、見直しを新年度で実施	令和3年度～順次実施	・村地域防災計画や防災マニュアル(職員用)の作成、見直しを新年度で実施		・地域防災計画の修正箇所の検討	・地域防災計画の修正箇所の検討(令和7年度中に改定予定)	・地域防災計画の修正箇所の検討(令和8年度中に改定予定)
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	令和3年度～順次実施	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する				
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・担当課と調整し、要配慮者施設における訓練の実施を検討する	令和3年度～順次実施	防災計画を見直した段階で、福祉避難所における避難訓練を実施予定		・保健福祉部局と防災部局とで、個別避難計画作成についての取組を促進中。	・引き続き、新規の個別避難計画作成に取り組む。	
円滑な避難、氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察・消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～順次実施	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る		・平素からの道路管理者との連携を維持。		
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	引き続き定期的実施	共同点検がある場合、参加する予定				
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～順次実施	必要に応じて水防資機材を購入予定				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	引き続き定期的実施	水防訓練がある場合、参加する予定				
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯②③④⑤⑥⑨	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～順次実施	連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施予定				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑭	19市町村	・消防団(水防団)への加入について、HP等を用いて広報を行う	令和3年度～順次実施	欠員が出た場合、広報等で募集予定		・消防署の担当で消防団(水防団)の維持、団員の募集を継続中		
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・育成のための方策を検討する	令和3年度～順次実施	育成のための方策を検討			・次年度へ向けて、自主防災組織設立に取り組む。	現在、自主防災組織の要望のある町内会と協議中
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	被害発生した場合、被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施予定		・担当者による各種システム操作訓練の実施。		
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～順次実施	関係機関と共同して、体制を確認する				
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑭⑯	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～順次実施	防災計画の見直しに併せて排水計画を作成予定				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	⑭	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を促進	⑭	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	⑭⑯⑰	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、必要に応じて情報提供する	令和3年度～順次実施	浸水想定区域の選定を検討				

大樹町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑦	13市町村 十勝総合振興局	防災行政無線のデジタル化	令和3年度～	防災行政無線デジタル化完了 4月1日から運用開始	→			・備蓄資材の充実 ・津波監視カメラ設置 (旭浜漁港) 備蓄資材の充実
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの整備と周知	令和5年度～	・浸水想定区域に基づき、避難方法等の見直し及びハザードマップの予算化を検討(町内111河川対象)	・ハザードマップの委託業務を行い、年度末までに完成予定。その後、町民への配付等を行う。	令和5年6月4年度に完成した洪水ハザードマップ 町内全世帯へ2,600部配布	洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの周知・活用 ・外国人に対応したハザードマップの検討・作成に関する研修会実施	洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの周知・活用 ・外国人に対応したハザードマップの検討・作成に関する研修会実施
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことまちハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出発時の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JRC 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	継続実施	→			未実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立・支援、設立に至らない地域への支援	継続実施					大樹町自主防災組織継育成推進要綱を策定。 自主防災組織拡大に向け、住民への説明を実施
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	随時					未実施
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)							
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

大樹町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・避難情報を アラート、緊急通報メールで配信	継続実施	順次実施				
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画の見直しを行う。	令和3年度				必要に応じ見直しを行う。	必要に応じ見直しを行う。
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水想定区域が示された場合に検討する	令和3年度	・浸水想定区域が示された場合に検討、避難方法等の見直し及びハザードマップの再算定	・ハザードマップの委託業務を行い、年度末までに完成予定。その後、町民への配付等を行う。	令和5年6月4年度に完成した洪水ハザードマップ 町内全世帯へ2,600部配布		
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組みを促進する	令和3年度	継続実施			社会福祉協議会、保健福祉課、ケアマネージャーと協議し作成・検討中	社会福祉協議会、保健福祉課、ケアマネージャーと協議し作成・検討中
円滑な避難・応急後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	継続実施	継続実施				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	令和3年度～	継続実施				
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～	継続実施				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	令和3年度～	継続実施				
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～	順次実施				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑩	19市町村	・広報紙等で加入拡充を図る	令和3年度～	継続実施				
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	育成のための方策を検討する	令和3年度～	継続実施	自主防災組織の組織率向上のため対策検討 今後5年間で20団体を目標値とする		・自治会等に、活動のための参考資料を提供、次年度以降の登録に向け啓発中	大樹町自主防災組織育成推進要綱を策定。 自主防災組織拡大に向け、住民への説明を実施
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	継続実施				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して体制を確認する	令和3年度～	継続実施				
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑩⑲㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して排水計画を作成	令和3年度～	継続実施				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②③	10市町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑨	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、家電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	④⑤⑥⑨	17市町村 帯広開発建設部							

広尾町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまことハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立に向けた支援を行う	令和3年度～ 順次実施	必要に応じ、説明会を開催し、設立に向けた支援を実施				
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)							
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)							
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくするため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等につながる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・緊急通報メール、防災無線等を活用した情報発信	令和3年度～ 順次実施	緊急通報メ ル、防災無線等を活用した情報発信を実施				
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画等については、必要があれば見直しを実施していく。	平成30年度～ 順次実施	必要があれば見直しを実施				
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑥⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)							
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	平成30年度～					
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	連絡体制の検討や伝達訓練を順次実施				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑭	19市町村	・消防団(水防団)への加入について、HP等を用いて広報を行う	令和3年度～ 順次実施	HPや広報誌を用いて消防団員募集記事を掲載				
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災組織の育成・強化を図る	令和3年度～ 順次実施	・防災訓練の実施 ・現時点で交付金交付実績なし				
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	随時検討・実施				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑱⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉑	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉒	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉒㉓㉔	17市町村 帯広開発建設部							

足寄町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局	・災害備蓄資材の確保充実	令和3年度～	・災害備蓄資材の購入 ・避難所資材の充実 (コロナ対応資材)			・災害備蓄資材の購入 ・避難所資材の充実 (ポータブルストーブの購入・備蓄)	・避難所資材の充実 (バーベキュー・簡易 ベッド等の購入・備蓄)
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・洪水ハザードマップの更新検討	令和3年度	・洪水浸水想定区域図の更新時期に合わせて更新を予定	・中小河川の浸水想定区域指定に伴い、防災ガイドマップの見直しを実施 (令和5年度に足寄町防災ガイドマップを更新予定)	中小河川の浸水想定区域指定に伴い、足寄町防災ガイドマップを改訂	防災訓練・講話等で洪水ハザードマップ(改訂版)を町民に周知	
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・整備の必要性を検討	令和3年度	・検討中 (現段階では必要なし)				
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑩	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	・避難訓練実施要領を検討				
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	関係機関が実施する情報伝達訓練に参加				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立や活動支援を行う	令和3年度～ 順次実施	・広報誌で、自主防災組織に関する記事を掲載 ・自治会に、活動のための参考資料を提供				
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施	・役場職員(防災担当者)が講習会等に参加				
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・HP等を通じた広報の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	・足寄町HPの情報を充実 関係機関の情報をリンク				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

足寄町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		R3	R4	進捗達成度		
			業務内容	時期				R5	R6
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑯⑱	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑤	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・防災情報メールを活用した情報提供 ・実効性のある情報伝達手法の検討	令和3年度～ 順次実施	・防災無線と連動して足寄町HFPに放送内容がリアルタイムでアップ				
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑤	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・防災情報メールを活用した情報提供	令和3年度～ 順次実施	・エリアメール配信体制を維持 ・防災情報メールの活用について検討				
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・避難指示等の判断・伝達計画(水害編)の作成 ・災害対応マニュアルの早期見直し及び本部運営訓練等を実施 河川管理者の有する情報の共有方法を検討する ・地域防災計画、水防計画、避難指示等の判断伝達マニュアルについて、必要に応じて見直しを実施する	令和3年度	・地域防災計画等の見直しを実施				
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑤	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑤	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・コロナ禍等に対応した避難所の見直し検討	令和3年度～ 順次実施	・密を避けるための避難所運営を検討	・中小河川の浸水想定区域指定に伴い、指定緊急避難場所の見直しを実施	中小河川の浸水想定区域内の指定緊急避難場所を変更	防災訓練・講話等で指定緊急避難場所の変更を町民に周知	
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	令和3年度～ 順次実施	・避難所検討を福祉課と連携して実施				
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	令和3年度～ 順次実施	平素から連携				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	令和3年度～ 順次実施	点検時期・内容により共同点検の参加を調整				
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を図る	令和3年度～ 順次実施	水防資機材の購入及び機材の点検を計画的に実施				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	令和3年度～ 順次実施	・来年度の訓練参加を調整中	音更川総合水防演習に参加			
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	連絡体制を維持				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑳	19市町村	・拡充を検討する	令和3年度～ 順次実施	拡充を検討				
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災組織の設立及び育成のための方策を検討する	令和3年度～ 順次実施	自主防災組織育成の要領等を検討	自治会に自主防災組織の啓発に必要な資料を提供			
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉔	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	連絡体制を維持し、荒天時等の被害状況等を情報共有を実施				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認する	令和3年度～ 順次実施	体制を維持				
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑲⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	現状を確認				
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉔	10町村	・施設耐水化を検討する ・公共施設の防災機能の強化	令和3年度～ 順次実施	・必要性を検討				
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉕	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～ 順次実施	浸水想定区域内の要配慮者利用施設に対し、リスク説明を実施				

陸別町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		R3	R4	進捗達成度		
			業務内容	時期			R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	②	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑤⑦	13市町村 十勝総合振興局	・防災行政無線のデジタル化	継続実施	R4年度より整備に向けて検討中	防災行政無線のデジタル化、市街地屋外SPの整備完了 備蓄資材の計画的増備の推進	防災行政無線のデジタル化に向けた調査等 備蓄資材の計画的増備の推進	移動系防災行政無線（デジタル化）整備	移動系防災行政無線（デジタル化）運用、維持管理 備蓄資材の計画的増備の推進
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平時時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション（浸水ナビ）等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で作成と周知の予定	令和3年度	必要に応じて整備を検討	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成済み 随時更新内容の修正・周知	ハザードマップの内容更新に向けた調査等	ハザードマップを新たに作成更新	ハザードマップの周知活用等
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備	令和3年度	必要に応じて整備を検討	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成済み 随時更新内容の修正・周知	ハザードマップの内容更新に向けた調査等		
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画（タイムライン）について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑨	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・避難訓練等の実施 ・避難指示に着目した防災行動計画（タイムライン）の精度向上に参画	令和3年度～ 順次実施	順次実施	順次実施	順次実施	順次実施	順次実施
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪ ⑫⑬⑭ ⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	北海道との災害連絡通信訓練に参加	北海道との災害連絡通信訓練に参加	北海道との災害連絡通信訓練に参加	北海道との災害連絡通信訓練に参加	北海道との災害連絡通信訓練に参加
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・専門の講師を招き、浸水害の対応について防災教育を実施	令和3年度～ 順次実施					
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・自主防災組織の設立に向けた支援を行う	令和3年度～ 順次実施					
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	令和3年度～ 順次実施					
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・広報紙等を活用し水害等の情報提供をしていく	令和3年度～ 順次実施					
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

陸別町

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画について、必要があれば見直しを実施していく	令和3年度～ 順次実施		地域防災計画の改定 水害予防計画の見直しを実施	業務継続計画の作成	業務継続計画の策定 支援計画の策定	避難指示等の判断・伝達 見直し
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で見直し ・避難施設の増強	令和3年度～ 順次実施	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討	順次実施	順次実施	順次実施
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する。	令和3年度～ 順次実施	該当施設に対し、避難確保計画作成を促進	該当施設に対し、避難確保計画作成を促進	該当施設に対し、避難確保計画を促進	該当施設に対し、避難確保計画を促進	該当施設に対し、避難確保計画の見直し指示
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連絡を図る。	令和3年度～ 順次実施					
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する	令和3年度～ 順次実施					
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	②⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実を共同点検に参加する	令和3年度～ 順次実施					
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑨	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する	令和3年度～ 順次実施					
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑧⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施する	令和3年度～ 順次実施					
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	②⑩	19市町村	・消防団員の拡充推進	令和3年度～ 順次実施	町広報等による取組継続	取組継続	取組継続	取組継続	取組継続
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・育成のための方策を検討する	令和3年度～ 順次実施	取組継続	取組継続	取組継続	取組継続	取組継続
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②⑫	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～					
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑬	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と共同して、体制を確認	令和3年度～ 順次実施					
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	令和3年度～ 順次実施	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の雨水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②⑩	10町村	・公共施設の防災機能の強化	令和3年度～	避難所(交流センター)新築 防災備蓄等の強化	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討	必要に応じて整備を検討
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②⑨	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、支電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	④⑤⑥	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を選定の上、伝達する	令和3年度～ 順次実施					

下記該当項目全て継続実施とする。

北海道警察釧路方面本部・各警察署

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・関係機関と連携した訓練へ参加する。 ・避難指示に注目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画する。	継続実施	・関係機関と連携した訓練へ参加する。 ・避難指示に注目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画する。				
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施				
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・関係機関と連携した訓練の実施、参加する。	継続実施	・関係機関と連携した訓練の実施、参加する。 ・地域住民に対する防災講話を実施する。				
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)							
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・防災の取組に関する情報を警察のホームページ内で共有する。	継続実施	・防災の取組に関する情報を警察のホームページ内で共有する。				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

北海道警察釧路方面本部・各警察署

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑯⑰	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・計画作成に必要な助言と協力をする。	継続実施	・計画作成に必要な助言と協力をする。				
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・自治体との情報共有、訓練へ参加する。	継続実施	・自治体との情報共有、訓練へ参加する。				
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・道路交通の円滑に資する道路管理者との情報共有及び連携をする。	継続実施	・道路交通の円滑に資する道路管理者との情報共有及び連携をする。				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防資機材の充実、維持及び被災協議会での情報共有を行う。	継続実施	・水防資機材の充実、維持及び被災協議会での情報共有を行う。				
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する。	継続実施	・水防訓練に参加する。				
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・情報伝達訓練に参加する。	継続実施	・情報伝達訓練に参加する。				
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑳	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)							
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	令和3年度～	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施				
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑲㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉓	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部							

陸上自衛隊第5旅団

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点 (R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑨	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練に参加する。 ※任務等への影響のない範囲で訓練へ参加	令和3年度～ 順次実施	関係機関が主催する訓練に参加する	→ 未参加		十勝川流域タイムライン継続訓練に参加	→
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防							
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)							
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)							
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防							
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)							
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊	・共同点検に参加する。 ※任務等への影響のない範囲で共同点検へ参加	令和3年度～	関係機関が主催する共同点検に参加する	→	未参加	→	
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し、申し送り等円滑に実施できるよう検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・関係機関(開発局)、市町村等と情報を共有して、各機関等が保有している資機材を基に、災害派遣時における災害派遣活動の資とする。	令和3年度～	災害派遣において迅速な救助活動ができるように水防・人命救助・捜索資機材の取り扱い要領を演練	→		→	
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・各市町村、関係機関からの要請に基づき水防訓練へ参加する。 ※任務等への影響のない範囲で水防訓練へ参加	令和3年度～	関係機関が主催する訓練に参加する。	→	未参加	→	水害を想定した防災訓練に参加
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑪⑫ ⑬⑭⑯⑰⑱ ⑲⑳㉑㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・情報伝達訓練に参加する。 ※任務等への影響のない範囲で訓練へ参加	令和3年度～ 順次実施	関係機関が主催する情報伝達訓練に参加する	→	未参加	→	十勝川流域タイムライン接続訓練に参加
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑨	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)							
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑳	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・関係機関及び市町村と連携を図り、情報共有して、被害発生時に効果的な災害派遣活動(救助活動)の資とする。	令和3年度～	連絡協議会等に参加し、連絡体制を確認	→		→	
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害対応車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑱㉑	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の新水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉑	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉒㉓㉔	17市町村 帯広開発建設部							

とかち広域消防局

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑤⑦	13市町村 十勝総合振興局							
樋門、樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㉔	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8市 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑤⑩⑪ ⑫⑮⑯ ⑦⑫	19市町村 勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練に参加する。	令和3年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練に参加する。	→	未実施	・未実施	・地域防災訓練(水害)において、災害対策本部訓練に参加、各機関と情報伝達訓練を実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・市町村主催の防災訓練に参加する。	引き続き実施	・市町村主催の防災訓練に参加する。	→	・自治体主催の防災訓練に参加 (土農工法、防災講話、救助訓練、応急手当普及啓発、火災予防広報、避難誘導訓練、消火器訓練、煙体験、資料展示) ・地元企業主催の防災訓練に参加 (救助訓練、応急手当普及啓発、火災予防広報) ・地震津波避難訓練に参加 (避難誘導)	・自治体主催の防災訓練に参加 (避難誘導訓練、火災予防広報、応急手当普及啓発、初期消火訓練) ・地元企業主催の防災訓練に参加 (救助訓練、応急手当普及啓発、火災予防広報)	・自治体主催の防災訓練に参加 (水難関係資機材の展示・説明、避難誘導訓練、消火訓練、煙体験、水害フェンス展示等) ・地元企業主催の地域防災訓練に参加 (煙体験、車両展示、救助訓練、消火訓練、応急処置訓練)
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関主催の水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・関係機関主催の水防技術講習会に参加する。	→	・十勝川流域豪雨職員研修会に参加 ・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)							
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

とかち広域消防局

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホッパラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・非常時災害警防対策計画の見直し、マニュアル等の策定に向けた調査検討を行う。	令和3年度～ 順次実施	・非常時災害警防対策計画の見直し、マニュアル等の策定に向けた調査検討を行う。	→	・地域防災計画修正 ・消防施設整備状況の更新	・未実施	・災害事例を検証、防災計画の見直し、検討を実施。 ・災害発生時の初動マニュアル・部修正
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報入手のため道路管理者と連携を図る。	令和3年度～ 順次実施	・通行止め情報入手のため道路管理者と連携を図る。	→	・道路啓開訓練に参加 (図上訓練、実動訓練による関係機関の連携強化)	・道路啓開訓練に参加 (図上訓練、車両移動訓練による関係機関の連携強化)	・道路啓開訓練に参加 (車両移動訓練による関係機関の連携強化)
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防訓練機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し質し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・過去の災害を検証し、関係機関との連携・情報共有体制の強化を図る。	令和3年度～ 順次実施	・過去の災害を検証し、関係機関との連携・情報共有体制の強化を図る。	→	未実施	・未実施	・未実施
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑫	19市町村 勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する。	引き続き実施	・水防訓練に参加する。	→	未実施	・未実施	・未実施
水防団、ダム、堤点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・情報伝達訓練に参加する。	令和3年度～ 順次実施	・情報伝達訓練に参加する。	→	未実施	・未実施	・未実施
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑲	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)							
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被害情報等の連絡・情報共有体制を構築し効果的な救助活動を実施する。	令和3年度～	・被害情報等の連絡・情報共有体制を構築し効果的な救助活動を実施する。	→	・地域防災計画の再確認 ・水防計画の見直し	・未実施	・未実施
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑱	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関と連携し、体制を確認する。	引き続き実施	・関係機関と連携し、体制を確認する。	→	・第五旅団災害対処訓練に参加 (災害対応機関の意見交換) ・北海道防災総合訓練に参加 (地震・津波避難訓練)	・未実施	・未実施
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑨	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、(R等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	④⑤⑥⑨	17市町村 帯広開発建設部							

日本放送協会帯広放送局

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	㊸	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK	・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース・防災アプリにて提供	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK	・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース・防災アプリにて提供	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。
防災行政無線の改良、スピーカの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	㊸	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑪	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑤⑨⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JRC 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	順次実施	訓練に積極的に参加するとともにその模様を地域向けに放送し、啓発に努める。	訓練参加はなし。災害時の情報伝達の精度向上に向けて局内の災害対応ハンドブックの情報更新を実施。2023年3月に内容が変更された十勝川水系の河川整備計画のポイント等をまとめた特集の放送を5月に実施。	訓練参加はなし。	訓練参加はなし。
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防							
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)							
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)							
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

日本放送協会帯広放送局

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK	・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース・防災アプリにて提供	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK	・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース・防災アプリにて提供	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。	引き続き実施。
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防							
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者等との連携	②④⑤⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)							
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	②⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	②⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫ ⑬⑭⑮⑯ ②③④⑤⑨	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・情報伝達訓練に参加する。	令和3年度～ 順次実施	順次実施	訓練に積極的に参加するとともにその模様を地域向けに放送し、啓発に努める。	訓練参加はなし。災害時の情報伝達の練度向上に向けて局内の災害対応ハンドブックの情報更新を実施。2023年3月に内容が変更された十勝川水系の河川整備計画のポイント等をまとめた特集の放送を5月に実施。	訓練参加はなし。	訓練参加はなし。
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	②⑩	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)							
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑬	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬②	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	②	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	②⑨	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	②⑤⑨	17市町村 帯広開発建設部							

北海道旅客鉄道株式会社釧路支社

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	②	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を実施するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	②	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑨	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防							
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)							
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)							
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)							

北海道旅客鉄道株式会社釧路支社

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑯	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫ ⑬⑭⑯⑰	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防							
気象情報発信時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)							
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実に努めるとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑭	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫ ⑮⑯⑰⑱ ㉑②③④	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	情報伝達訓練に参加する。	令和3年度～ 順次実施	未実施	未実施	5月10日十勝川流域タイムラインによる危機感の共有についての訓練に参加し、情報共有内容の確認、各機関とのWEB接続確認を行った。	5月10日十勝川流域タイムラインによる危機感の共有についての訓練に参加し、情報共有内容の確認、各機関とのWEB接続確認を行った。	5月12日、十勝川流域タイムラインによる危機感の共有についての訓練に参加し、情報共有内容の確認、各機関とのWEB接続確認を行った。
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑳	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)							
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	㉒	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑲	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑲⑳	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	㉒	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉒	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	㉔㉕㉖	17市町村 帯広開発建設部							

北海道電力株式会社新得水力センター

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑫	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)							
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑪	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出発時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	引き続き実施	・国交省主催の洪水対応演習(5/14)に合わせて情報伝達訓練を実施。	・国交省主催の洪水対応演習(5/12-13)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。	・国交省主催の洪水対応演習(5/11-12)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。	・国交省主催の洪水対応演習(5/14-15)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。	・国交省主催の洪水対応演習(5/13-14)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防							
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)							
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・新得町広報誌に水難事故防止PR資料を掲載(融雪前の4月、夏休み前の7月に掲載) ・夏休み前の7月に新得町教育委員会を通じ、十勝川近隣小中学校に水難事故防止PR資料を配布。	引き続き実施	・毎年4月の新得町広報誌に当社および電源開発との連名で水難事故防止の掲載を実施。また、7月には同広報誌に水難事故防止と、小中学校にPR資料の配布を実施。			・毎年新得町広報誌4月号および8月号に当社と電源開発との連名で水難事故防止PRの掲載を実施。また、7月には水難事故防止PR資料を十勝川近隣小中学校に配布を実施。	
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じ、治水協定に基づき事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)	・警戒体制に入った場合、下流関係者へ連絡	引き続き実施	・警戒体制に入った場合、下流関係者へ連絡。				
			・治水協定に基づき、必要に応じ事前放流を実施		・治水協定に基づき、必要に応じ事前放流を実施。				

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防							
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)							
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑭	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・情報伝達訓練に参加する。	引き続き実施	・国交省主催の洪水対応演習(5/14)に合わせて情報伝達訓練を実施。	・国交省主催の洪水対応演習(5/12-13)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。	・国交省主催の洪水対応演習(5/11-12)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。	・国交省主催の洪水対応演習(5/14-15)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。	・国交省主催の洪水対応演習(5/13-14)に合わせて情報伝達訓練を実施する予定であったが、岩松ダム放流中のため中止。
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑲	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・ダム、発電所の事故を想定した河川ハイドロール訓練を実施。	1回/年 (11月頃)	・ダム、発電所の事故(油流出、緊急放流)を想定した河川ハイドロール訓練を実施。			・ダムの異常放流を想定した訓練(情報伝達、河川ハイドロール、救命浮輪投てき)を実施(11/25)。	・ダムの異常放流を想定した訓練(情報伝達、河川ハイドロール、救命浮輪投てき)を実施(11/13)。
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	②	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑬	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑰	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	⑳	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	㉑	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	④⑤⑥	17市町村 帯広開発建設部							

電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所

項目、事項、内容	課題の 対応	取組機関	取組方針策定時点(R3.7.5)		進捗達成度				
			業務内容	時期	R3	R4	R5	R6	R7
1. ハード対策									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策									
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 継続的な河道等の維持管理	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
住民の避難行動を促すために設置した、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの維持管理	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を実施するため、スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築及び改良	⑥⑧	十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	釧路地方気象台 帯広開発建設部 NHK							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備、備蓄資材等の充実	⑥⑪	13市町村 十勝総合振興局							
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
下流河川の安全に資するため、ダムの再開発や情報提供のための設備改良	⑨⑩	十勝総合振興局 帯広開発建設部 電源開発(株)	・糠平ダムでは、降雨予測により、ダム水位を低下させ、貯水容量を確保し、放流量を低減する操作を実施している ・川の防災情報にダムの状況を提供する。	令和3年度～	・H29に策定した糠平ダム暫定運用の実運用と検証(該当実績なし) ・H29より糠平、元小屋、活込、仙美里、屈足、R3より幌加、糠南を加えた計7ダムの情報を国土交通省の川の防災情報にて情報提供中。				
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の浸水シミュレーション(浸水ナビ)等による公表及び周知	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成・改良と周知・活用	⑦	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	16市町村 帯広開発建設部							
各構成員が既に保有する浸水実績等の水害危険性に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8町 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑧⑨	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑥⑩⑪⑫ ⑮⑯⑰⑱	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 NHK、JRF 北海道電力(株) 電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	令和3年度～ 順次実施	・国交省主催の洪水対応演習に合わせて情報伝達訓練を実施(R3.5.14演習参加)	・国交省主催の洪水対応演習に合わせて情報伝達訓練を実施(R4.5.12-13演習参加)	・国交省主催の洪水対応演習に合わせて情報伝達訓練を実施(R5.5.11-12演習参加)	・国交省主催の洪水対応演習に合わせて情報伝達訓練を実施(R6.5.14-15演習参加) ・なお、電子メールでの情報受信可能な機関に対し、FAXからメールへの切り替えを実施。	・国交省主催の洪水対応演習に合わせて情報伝達訓練を実施(R7.5.13-14演習参加)
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部							
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防							
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	①③	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関と連携し、ダム放流に関する説明会等を実施。	令和3年度～ 順次実施	上士幌教育委員会の糠平ダム見学会時にダム放流時の警報等について説明(R3.11.10)	・上士幌小学校(4-5年生)の糠平ダム見学会時にダム放流時の警報等について説明(R4.7.5-6)	本別小学校(6/28:活込)、帯広工業高校(7/24:糠平)、上士幌小学校(10/14:糠平)、鹿追教育委員会・子供会(10/21:糠平)のダム見学会時にダム放流時の警報等について説明	9月6日:上士幌小学校5年生(37名)へ糠平ダム見学会時にダム放流時の警報等について説明	8月27日:上士幌小学校5年生(42名)へ糠平ダム見学会時にダム放流時の警報等について説明
住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・関係自治体の広報誌にダム放流等に係るパンフレット等を掲載する。	令和3年度～ 順次実施	・関係自治体が発行している広報誌にダム放流に関する注意喚起記事を掲載(各市町村へR3.6～8月号掲載依頼投稿)				
ダムの状況をリアルタイムで共有し、必要に応じて、治水協定に基づく事前放流を実施し、関係機関へ周知	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)	・治水協定に基づき事前放流を実施するとともに、関係機関への周知を行う。	令和3年度～	・治水協定に基づく事前放流の実施と、これに係る関係機関への周知を行う。(適用実績なし)				

3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組									
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)及び定期的な連絡体制の確認	⑧⑬⑭	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報文への改良を行う	⑬	帯広開発建設部							
危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる水位情報や映像情報の提供	⑧⑬⑭⑮	十勝総合振興局 帯広開発建設部							
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	6市町村 帯広開発建設部 NHK							
洪水予報、避難指示等をプッシュ型で情報発信	⑥	18市町村 帯広開発建設部 NHK							
市町村地域防災計画、水防計画及び避難指示等の判断・伝達計画の作成・見直し	⑤⑧⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防							
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑥	釧路地方気象台 電源開発(株)	・洪水発生時に行う関係自治体への発信文の表現等の見直しを検討する。	令和3年度～	・発信文の表現等の見直しを行い、関係自治体と検討を行い、改善を実施(R3.5ダム管理演習説明時に内容確認し、変更希望なし)	・発信文の表現等の見直しを行い、関係自治体と検討を行い、改善を実施(R4.5洪水対応演習説明時に内容確認し、変更希望なし)	・発信文の表現等の見直しを行い、関係自治体と検討を行い、改善を実施(R5.5洪水対応演習説明時に内容確認し、変更希望なし)	・R6.5洪水対応演習前の関係自治体への説明時に発信文の表現等の内容確認を実施。変更希望なし。	・R7.5洪水対応演習前の関係自治体への説明時に発信文の表現等の内容確認を実施。変更希望なし。
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
福祉部局とも連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	18市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察							
円滑な避難・氾濫後の復旧のため、道路管理者との連携	③④⑤⑥	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防 電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る。	令和3年度～ 順次実施	・R1より足寄道路事務所との隣平ダム放流における連絡体制を整備し、運用を開始。 (通報基準に達する隣平ダム放流実績なし)				
4. 長時間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	②⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 自衛隊							
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し、出し出し等が円滑に実施できるよう検討を推進	⑪	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑨⑩⑫ ⑬⑭⑮⑯ ②③④⑤⑥	19市町村 十勝総合振興局 警察、自衛隊、消防 NHK、JR 北海道電力(株) 電源開発(株)	・国交省主催の「洪水対応演習」に参加する。	引き続き実施	・国交省主催の「洪水対応演習」に参加(R3.5.14演習参加)	・国交省主催の「洪水対応演習」に参加(R4.5.12～13演習参加)	・国交省主催の洪水対応演習に参加(R5.5.11～12演習参加)	・国交省主催の洪水対応演習に参加(R6.5.14～15演習参加)	・国交省主催の洪水対応演習に参加(R7.5.13～14演習参加)
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑩	19市町村							
自主防災組織や地域防災リーダーの育成	①②③	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株)							
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑫	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防							
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組									
訓練を通じて、排水ポンプ車等の災害車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑬	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画の作成及び訓練の実施	⑬⑯	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部							
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化や、公共施設の防災機能強化を促進	⑫	10町村							
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑯	帯広開発建設部							
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供	⑭⑮⑯	17市町村 帯広開発建設部							

流域治水協議会 取組状況

各関係機関の取組 概要

項目、事項、内容	目標時期	取組機関	取組の概要（R6年3月25日 見直し）	R6年度末 実施状況	R7年度末 実施状況
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策					
堤防整備 河道掘削 侵食対策 排水機場設置 佐機ダム嵩上げ	令和3年度 から実施	帯広開発建設部 十勝総合振興局	国・北海道：堤防整備、河道掘削、侵食対策等を順次実施 北海道：排水機場整備、佐機ダム嵩上げの実施	国：十勝川、利別川の河道掘削、札内川、音更川の侵食対策等の実施 北海道：堤防整備、河道掘削、侵食対策（二級水系含む）	国：十勝川、利別川の河道掘削、札内川、音更川の侵食対策等の実施 北海道：堤防整備、河道掘削、侵食対策（二級水系含む）
既存洪水施設の機能増強及び ハイブリッドダムの検討	令和5年度 から実施	帯広開発建設部	国：札内川ダム改良の調査・検討、ハイブリッドダムの検討 国：糠平ダム有効活用に向けた治水機能増強検討調査の実施	国：札内川ダムの改良の調査・検討 国：糠平ダム有効活用に向けた治水機能増強検討調査の実施	国：札内川ダムの改良の調査・検討、 工事用道路の整備 国：糠平ダム有効活用に向けた治水機能増強検討調査の実施
既存13ダムにおける事前 放流等の実施・体制構築	令和3年度 から実施	帯広開発建設部 十勝総合振興局 2町	国・北海道・芽室町・幕別町：R2.5月に治水協定を締結協定に基づき順次実施	国・北海道・芽室町・幕別町：連絡体制の構築、貯水位運用の実施。 事前放流の実施（実績なし）	国・北海道・芽室町・幕別町：連絡体制の構築、貯水位運用の実施。 事前放流の実施（実績なし）
砂防堰堤	令和3年度 から実施	帯広開発建設部 十勝総合振興局	国：砂防堰堤整備の実施 北海道：土砂災害対策の実施	国：戸島別川第1号砂防堰堤、戸島別川第4号砂防堰堤、流木捕捉工の整備 北海道：砂防堰堤整備の継続（二級水系含む）	国：戸島別川第1号砂防堰堤、戸島別川第4号砂防堰堤、流木捕捉工の整備 北海道：砂防堰堤整備の継続（二級水系含む）
農業施設整備	令和3年度 から実施	帯広開発建設部 十勝総合振興局	国：雨水貯留に活用できる農業施設の整備 北海道：雨水貯留に活用でき洪水被害の軽減を図る農業施設の整備	国：新川 期地区、芽室川西地区、十勝川左岸 期地区、笹川地区の排水路・用水路整備の実施、 清川二期地区・新更別地区の排水路調査の実施 北海道：新田地区、糠内1地区、相川1地区の排水路整備を実施	国：新川 期地区、芽室川西地区、十勝川左岸 期地区、笹川地区、 新更別地区 の排水路・用水路整備の実施、 清川二期地区の排水路調査の実施 北海道：新田地区、 帯広大正2地区 の排水路整備を実施
治山対策	令和3年度 から実施	十勝総合振興局 北海道森林管理局	北海道：治山施設等の整備 北海道森林管理局：治山施設等の整備	北海道：溪間工・山腹工・流木対策工の実施（二級水系含む 新得町・鹿追町・音更町・幕別町・ 池田町・浦幌町・足寄町） 勝西部森林管理者：溪間工1基（清水町） 東大雪支署：溪間工1基（新得町、流木対策工設置完了）引き続き新得町にて溪間工を設置する。 十勝東部森林管理者：溪間工1基、山腹工1箇所（足寄町）、溪間工3基（うち補修1基）（本別町）	北海道： 溪間工14基・山腹工4箇所・流木対策工（危険木除去5箇所）の実施 （二級水系含む 新得町・池田町・浦幌町・ 足寄町・本別町・大樹町） 十勝西部森林管理者：溪間工1基（大樹町）、山腹工3箇所（広尾町） 東大雪支署：溪間工1基（新得町） 十勝東部森林管理者：溪間工3基（うち1基補修）（足寄町）、溪間工5基（うち2基補修、1基改良）（本別町）
森林整備	令和3年度 から実施	十勝総合振興局 北海道森林管理局 森林整備センター	北海道：植栽・間伐等の森林整備 北海道森林管理局：植栽・間伐等の森林整備 森林整備センター：植栽・間伐等の森林整備	北海道：植付、間伐の実施（二級水系含む 中札内村・大樹町・広尾町・浦幌町） 北海道森林管理局：植付、間伐等の実施（二級水系含む管轄管内全域） 森林整備センター：植付、間伐の実施	北海道：植付、間伐の実施（二級水系含む 中札内村・大樹町・広尾町・浦幌町） 北海道森林管理局：植付、間伐等の実施（二級水系含む管轄管内全域） 森林整備センター：植付、間伐の実施
津波・高潮対策 （海岸整備）	令和3年度 から実施	十勝総合振興局	北海道：背後地の浸水被害防止のための津波・高潮対策の実施	北海道：豊頃海岸大津地区 海岸護岸整備	北海道：豊頃海岸大津地区 海岸護岸整備
流出抑制対策	令和3年度 から実施	13町村	音更町：既存施設を活用した雨水貯留施設機能強化、 農業用排水路等の整備 士幌町：公園を活用した雨水貯留機能強化、農業用排水路等の整備 鹿追町：農業用排水路等の整備、公園を活用した雨水貯留機能強化 新得町：農業用排水路等の整備 清水町：農業用排水路等の適切な維持管理 芽室町：農業排水路の管理・整備 中札内村：農業用排水路等の整備 更別村：農業用排水路等の整備 池田町：農業用排水路等の整備 豊頃町：農業用排水路等の整備 本別町：農業用排水路等の整備 陸別町：農業用排水路等の整備 浦幌町：農業用排水路等の整備	音更町：農業用排水路の管理 士幌町：公園の雨水貯水機能の管理、農業用排水路の整備 鹿追町：農業用排水路の管理・整備 新得町：農業用排水路の管理・整備 清水町：農業用排水路の管理・整備 中札内村：農業用排水路の管理・整備を実施 芽室町：農業用排水路の管理・整備 更別村：農業用排水路の管理・整備 池田町：農業用排水路等の整備（R3～R7） 豊頃町：農業用排水路等の整備 本別町：農業用排水路の管理・整備 陸別町：農業用排水路の管理・整備 浦幌町：農業用排水路等の管理・整備	音更町：農業用排水路の管理 士幌町：公園の雨水貯水機能の管理、農業用排水路の整備 鹿追町：農業用排水路の管理・整備 新得町：農業用排水路の管理・整備 清水町：農業用排水路の管理・整備 中札内村：農業用排水路の管理・整備を実施 芽室町：農業用排水路の管理・整備 更別村：農業用排水路の管理・整備 池田町：農業用排水路等の整備（R3～R7） 豊頃町：農業用排水路等の整備 本別町：農業用排水路の管理・整備 陸別町：農業用排水路の管理・整備 浦幌町：農業用排水路等の管理・整備
下水道浸水被害 軽減対策	令和3年度 から実施	5市町村	帯広市：帯広川第1排水区（東地区）、機関庫の川第5排水区（稲田地区） にて下水道雨水管の整備を優先的に実施、下水処理場の統廃合 音更町：下水道施設の耐水化、下水道雨水管整備 新得町：下水道雨水管整備 池田町：下水道施設の耐水化 更別村：ポンプの停電対策	帯広市：機関庫の川第5排水区の下水道雨水管の整備 音更町：下水道施設の耐水化、下水道雨水管整備 池田町：下水道施設の改築検討 更別村：マンホールポンプの停電対策（非常用発電機配備：R6～R7）	帯広市：機関庫の川第5排水区の下水道雨水管の整備 音更町：下水道施設の耐水化、下水道雨水管整備 促進 池田町：下水道施設の改築検討 更別村：マンホールポンプの停電対策（非常用発電機配備：R6～R7）

各関係機関の取組 概要

項目、事項、内容	目標時期	取組機関	取組の概要（R6年3月25日 見直し）	R6年度末 実施状況	R7年度末 実施状況
2. 被害対象を減少させるための対策					
二線堤等の整備検討	令和3年度から実施	1町	新得町：二線堤等の整備検討	新得町：二線堤等の整備検討	新得町：二線堤等の整備検討
3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策					
備蓄資材庫整備	令和3年度から実施	帯広開発建設部 十勝総合振興局 11市町村	国・北海道：備蓄資材の確保充実 帯広市：拠点備蓄倉庫の新設 音更町：備蓄資材庫の整備 上士幌町：備蓄資材庫の整備 土幌町：備蓄資材の整備 新得町：災害備蓄資材の確保充実 清水町：災害備蓄資材の確保充実 中札内村：備蓄資材庫の整備 更別村：備蓄資材庫の整備 池田町：備蓄資材庫の整備 豊頃町：備蓄資材庫の整備 大樹町：災害用資機材の整備	国・北海道：備蓄資材の確保充実 帯広市：備蓄資材の整備 音更町：備蓄倉庫（1棟）、資材の整備 上士幌町：拠点備蓄庫整備事業の推進、要支援者用備蓄品の充実 土幌町：備蓄資材の整備、備蓄倉庫整備を検討。 新得町：災害備蓄資材の確保充実 清水町：災害備蓄資材の確保充実 中札内村：災害備蓄資材の確保充実 更別村：備蓄資材庫の整備（指定福祉避難所1か所への備蓄用倉庫の設置、備蓄品の充実） 池田町：整備の検討 足寄町：災害備蓄資材の確保充実 豊頃町：備蓄資材庫の追加配備に向けた検討 大樹町：災害用資機材の整備（電気自動車、パワームーバ、避難所用トイレ（ラップボン18台） 小型重機及びスライドダンプ	国：水防拠点の整備 北海道：備蓄資材基地の整備（1箇所） 帯広市：備蓄資材の整備 音更町：地域防災倉庫（2棟）、資器材の整備 土幌町：備蓄資材の整備、備蓄倉庫整備を検討 上士幌町：拠点備蓄倉庫の整備、備蓄資材の確保充実 新得町：災害備蓄資材の確保充実 池田町：災害備蓄資材の追加整備に向けた検討 中札内村：災害備蓄資材の確保充実 更別村：備蓄資材庫の整備（指定福祉避難所1か所への備蓄用倉庫の設置、備蓄品の充実） 池田町：整備の検討 足寄町：災害備蓄資材の確保充実 豊頃町：備蓄資材庫の追加配備に向けた検討（R8年度追加整備予定） 大樹町：災害備蓄資材の確保充実
避難場所整備	令和3年度から実施	8町村	音更町：避難路の整備 上士幌町：避難施設の整備 鹿追町：避難所の整備 中札内村：避難施設の整備 更別村：避難施設の整備 池田町：避難路、避難場所の整備 豊頃町：避難路の整備 陸別町：避難施設の増強	音更町：避難路として活用する町道の整備 上士幌町：指定避難所用非常用発電機の維持・管理 指定福祉避難所の指定整備について検討 鹿追町：V2Lの整備（FCV・EV）避難所の電源確保 中札内村：避難所用暖房機器の整備 更別村：避難施設の整備（指定避難所1か所への非常用発電機の設置） 池田町：利別避難路再整備計画策定（R5-R6）後、避難所の見直し 豊頃町：トンケン津波緊急避難場所及び避難路の整備	音更町：避難路として活用する町道の整備 土幌町：内水浸水想定の作成に基づく指定避難所の見直しを検討 上士幌町：指定避難所用非常用発電機の維持・管理 指定福祉避難所の指定整備について検討 鹿追町：電気自動車（FCV・EV）から避難所内への電源引込路整備 中札内村：V2Lの整備及び避難所内での電源確保 更別村：避難施設の整備（指定避難所1か所への非常用発電機の設置） 池田町：避難所の見直し 豊頃町：津波緊急避難路の整備（R9年度完了予定）
内水マップの作成	令和3年度から実施	6町	音更町：内水マップの作成 上士幌町：内水マップの作成 土幌町：内水マップの作成 幕別町：内水マップの作成 池田町：内水マップの作成 豊頃町：内水マップの作成	土幌町：内水マップの作成を検討中。 幕別町：内水マップの作成を実施中。 池田町：R6年度中に完成予定	音更町：R8年度中に作成予定。 土幌町：内水マップを作成 幕別町：内水マップを作成済。町ホームページで公表済。 池田町：R8年度中に完成予定 芽室町：内水浸水想定区域調査
避難計画の見直し	令和3年度から実施	11町村	音更町：町内事業所のBCP策定促進、個別計画の作成促進、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進 上士幌町：福祉避難施設の検討、個別計画の作成促進 新得町：避難計画の見直し 鹿追町：避難所運営マニュアルの改正 芽室町：要配慮者利用施設の防災体制の整備及び構築、避難所開設、運営マニュアルの改正 更別村：冠道沿線区域区域図の活用による防災計画見直し 池田町：避難計画の作成促進 豊頃町：避難計画の見直し 足寄町：避難計画の見直し 浦幌町：要配慮者避難確保計画の作成促進	音更町：事業者のBCP策定、避難確保計画作成支援、個別避難計画作成、避難訓練の実施 上士幌町：保健福祉課との連携、個別避難計画等の作成促進 避難所等運営マニュアルの策定 新得町：避難所運営マニュアルの改正 更別村：個別避難計画の作成促進 池田町：利別避難路再整備計画策定（R5-R6） 足寄町：指定緊急避難場所の変更について町内イベント等で町民に周知、個別避難計画の作成促進 浦幌町：個別避難計画の作成推進 鹿追町：保健福祉課との連携、個別避難計画の作成促進 大樹町：個別避難計画の作成推進 陸別町：保健福祉センターとの連携、個別避難計画の作成促進	音更町：事業者のBCP策定、避難確保計画作成支援、個別避難計画作成、避難訓練の実施 上士幌町：保健福祉課との連携、個別避難計画等の作成促進 避難所等運営マニュアルの策定 新得町：避難所運営及び避難所内での電源確保 更別村：個別避難計画の作成促進 池田町：利別避難路再整備計画策定（R5-R6） 足寄町：指定緊急避難場所の変更について町内イベント等で町民に周知、個別避難計画の作成促進 浦幌町：個別避難計画の作成推進 鹿追町：保健福祉課との連携、個別避難計画の作成促進 大樹町：個別避難計画の作成推進 陸別町：保健福祉センターとの連携、個別避難計画の作成促進
マイ・タイムラインの普及促進	令和3年度から実施	6町	音更町：マイ・タイムラインの普及促進 上士幌町：マイ・タイムラインの普及促進 清水町：マイ・タイムラインの普及促進 芽室町：マイ・タイムラインの普及促進 幕別町：マイ・タイムラインの普及促進 池田町：マイ・タイムラインの普及促進	音更町：出前講座等による普及促進 上士幌町：出前講座等による普及促進 清水町：一日防災学校等による普及促進 芽室町：マイ・タイムラインの普及促進	音更町：出前講座等による普及促進 上士幌町：出前講座等による普及促進 清水町：一日防災学校等による普及促進 芽室町：マイ・タイムラインの普及促進
まるごとまちごとハザードマップの整備促進	令和3年度から実施	4町	音更町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 幕別町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 池田町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 浦幌町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進	音更町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 幕別町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 池田町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 浦幌町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進	音更町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 取組の一環として、指定浸水浸漬示板を設置予定（R8） 幕別町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進 池田町：まるごとまちごとハザードマップの整備促進

各関係機関の取組 概要

項目、事項、内容	目標時期	取組機関	取組の概要（R6年3月25日 見直し）	R6年度末 実施状況	R7年度末 実施状況
防災情報発信強化	令和3年度 から実施	14市町村	帯広市：出前講座、親子防災講座の実施、ハザードマップによる周知啓発、地域防災訓練の実施、ホームページや広報紙による周知啓発、緊急情報一斉伝達システムによる洪水情報等の配信、重要水防箇所巡視、関係機関との連絡体制の構築及び情報の共有を実施 音更町：防災無線等を活用した情報発信の強化、地区防災計画の普及啓発 上士幌町：スマートフォンアプリ、戸別受信機への防災情報の発信 土幌町：各種登録促進活動の実施 鹿追町：防災無線の整備（戸別受信機の全世帯配布） 蕨追町：公式アプリ、メール、LINE、Facebookを活用した情報配信システムの導入 清水町：防災無線やメール等による情報発信の強化 芽室町：災害告知用戸別端末、公式LINEアカウント等による住民への情報伝達手段の強化 広尾町：防災行政無線を活用した情報発信の強化 幕別町：防災のしおり、防災無線の整備 更別村：メール配信による情報発信の強化 池田町：防災行政無線を活用した情報発信システム、 豊頃町：防災無線等を活用した情報発信の強化 本別町：防災行政無線を活用した情報発信の強化 浦幌町：防災情報伝達システムの構築	帯広市：出前講座、親子防災講座の実施、ハザードマップによる周知啓発、防災動画による周知啓発、防災訓練の実施、防災グッズ展の実施、ホームページや広報紙による周知啓発、緊急情報一斉伝達システムやSNSによる災害情報等の配信、関係機関との連絡体制の構築及び情報の共有を実施 音更町：災害用SNSの活用、防災無線の追加設置、活用の継続、防災ガイドブック、ハザードマップによる周知啓発、ホームページや広報紙による周知啓発、緊急情報一斉伝達システムによる災害情報等の配信、協定先等情報共有訓練 上士幌町：スマートフォンアプリの画面リニューアル、戸別受信機による町民への情報発信及びアプリ等登録促進活動 土幌町：防災無線の整備（戸別受信機をすべての転入者に配布） 鹿追町：災害告知用戸別端末、公式LINEアカウント等による住民への情報伝達手段の強化、登録促進、災害告知用戸別端末を希望者へ配付継続 広尾町：防災無線の受信機配布（全世帯） 幕別町：防災行政無線の整備（全戸配布を継続） 更別村：転入者等引き続き戸別受信機の希望者への配布を継続。希望者への防災メール配信による情報発信の実施。 池田町：防災メール（ヤフー防災アプリと連携）、防災行政情報伝達システム、防災行政無線を活用した情報発信の強化 豊頃町：SNSによる防災情報の発信、防災出前講座の実施 本別町：希望者への受信機配布、防災ガイドマップの全戸配布（R5.1） 浦幌町：デジタル防災行政無線局を携帯電話網を活用した防災情報伝達システムへ改修	帯広市：出前講座、親子防災講座の実施、ハザードマップによる周知啓発、防災動画による周知啓発、防災訓練の実施、防災グッズ展の実施、ホームページや広報紙による周知啓発、緊急情報一斉伝達システムやSNSによる災害情報等の配信、関係機関との連絡体制の構築及び情報の共有を実施、 防災無線の整備（戸別受信機は本年度配布） 音更町：災害用SNSの活用、防災無線の追加設置、活用の継続、防災ガイドブック、ハザードマップによる周知啓発、ホームページや広報紙による周知啓発、緊急情報一斉伝達システムによる災害情報等の配信、協定先等情報共有訓練 上士幌町：スマートフォンアプリ、戸別受信機による町民への情報発信及びアプリ等登録促進活動 土幌町：防災無線の整備（戸別受信機をすべての転入者へ配布） 新得町：防災無線を整備、DX絡め導入の是非を調査。 清水町：防災無線や登録制メール等による情報発信の実施（個別受信機については希望者全てに配布済み。転入者等引き続き希望者への配布は継続。基地局等設備のメンテナンスを実施。） 鹿追町：防災無線や公式アプリ、メール、LINE、Facebookを活用した情報配信システムの活用 芽室町：災害告知用戸別端末、公式LINEアカウント等による住民への情報伝達手段の強化、登録促進、災害告知用戸別端末を希望者へ配付継続、 第3世代Jアラート機器へ更新・単独プロセッサに集中、防災無線の受信機配布（全世帯） 幕別町：防災行政無線の整備（全戸配布を継続） 更別村：転入者等引き続き戸別受信機の希望者への配布を継続。希望者への防災メール配信、公式LINEによる情報発信の実施。 池田町：防災メール（ヤフー防災アプリと連携）、防災行政情報伝達システム、防災行政無線を活用した情報発信の強化 豊頃町：SNSによる防災情報の発信、防災出前講座の実施 本別町：希望者への受信機配布、防災ガイドマップの全戸配布（R5.1） 浦幌町：防災情報伝達システム、 @InfoCanal の普及推進
ハザードマップの整備促進	令和3年度 から実施	18町村	音更町：ハザードマップの整備促進、広域ハザードマップの検討 上士幌町：ハザードマップの整備促進 土幌町：ハザードマップの整備促進 鹿追町：公式アプリに防災マップを掲載 新得町：ハザードマップの整備促進 清水町：ハザードマップの整備促進 芽室町：ハザードマップの整備促進 大樹町：ハザードマップの整備促進 広尾町：ハザードマップの整備促進 中札内村：ハザードマップの整備促進 更別村：ハザードマップの整備促進 幕別町：ハザードマップの整備促進 池田町：ハザードマップの整備促進 豊頃町：ハザードマップの整備促進 本別町：ハザードマップの整備促進 足寄町：ハザードマップの整備促進 陸別町：ハザードマップの整備促進 浦幌町：ハザードマップの整備促進	音更町：デジタルハザードマップの更新 上士幌町：改訂版防災ガイドマップをR6.3に全戸配布、周知活動の実施（中小河川浸水想定区域の追加、土砂災害警戒区域等の更新） 機町：ハザードマップの整備促進(内水ハザードに係る検討) 鹿追町：保存版ハザードマップ(R6.6)、町内への全戸配布 新得町：防災マップ及びWEB版ハザードマップの作成（R6.3.31配付） 清水町：防災ガイドマップ（ハザードマップ）の公開中 （最新の浸水想定区域に対応済みの最新版についてはR4.5に配布済み） 広尾町：二級水系の浸水想定を含むweb版ハザードマップを公開中 中札内村：R3改訂、転入住民等への周知を随時実施 更別村：中小河川の洪水浸水想定区域指定に伴う洪水ハザードマップの新規作成 池田町：利別避難路再整備計画策定策定（R5-R6）、ハザードマップの改定予定（R6） 本別町：WEB版ハザードマップ整備に向けての情報収集 足寄町：足寄町防災ガイドマップ（改訂版）を町内イベント等で町民に周知 浦幌町：web版ハザードマップの作成・公開中 陸別町：ハザードマップの改定・更新（R6.12全戸配布済み）	音更町：ハザードマップ、防災ガイドブックの更新・全戸配布予定（R8） 上士幌町：R6.3改訂版防災ガイドマップ周知活動の実施（転入者への配布） （中小河川浸水想定区域の追加、土砂災害警戒区域等の更新） 土幌町：ハザードマップの整備促進(内水ハザードのシミュレーションの実施(R8改訂予定)) 新得町：防災マップ及びWEB版ハザードマップの作成（R6.3.31配付） 清水町：防災ガイドマップ（ハザードマップ）の公開中 （最新の浸水想定区域に対応済みの最新版についてはR4.5に配布済み） 広尾町：二級水系の浸水想定を含むweb版ハザードマップを公開中 中札内村：R3改訂、転入住民等への周知を随時実施 更別村：中小河川の洪水浸水想定区域指定に伴う洪水ハザードマップの新規作成（R6） 池田町：ハザードマップの改定予定（R8） 本別町：WEB版ハザードマップ整備に向けての情報収集 足寄町：足寄町防災ガイドマップ（改訂版）を町内イベント等で町民に周知 浦幌町：web版ハザードマップの作成・公開中 大樹町：外国人向け防災ガイドマップ、ハザードマップの検討
公共施設の防災機能強化	令和3年度 から実施	14町村	音更町：防災拠点の整備（新道の駅、道の駅公園） 上士幌町：公共施設の防災機能の強化 鹿追町：公共施設の防災機能の強化 新得町：公共施設の防災機能の強化（役場庁舎建替） 清水町：公共施設の防災機能の強化 芽室町：公共施設の防災機能の強化 中札内村：公共施設の防災機能の強化 更別村：公共施設の防災機能の強化 幕別町：公共施設の防災機能の強化 池田町：公共施設の防災機能の強化 足寄町：公共施設の防災機能の強化 陸別町：公共施設の防災機能の強化 浦幌町：公共施設の防災機能の強化	音更町：指定避難所の防災機能強化（マンホールトイレ整備、備蓄倉庫設置、冷房設備、発電機等備蓄品整備） 上士幌町：公共施設の防災機能の強化（役場庁舎耐震改修事業及び公共施設マイクログリット事業の推進） 鹿追町：公共施設の防災機能の強化（役場庁舎の太陽光発電活用） 新得町：公共施設の防災機能の強化（役場庁舎建替 R6.9.30竣工、R7.1.6業務開始） 芽室町：農村地区避難所の公衆無線LAN整備（1箇所） 中札内村：避難所となる公共施設用の暖房機器等備品整備実施 更別村：避難所となる公共施設用の発電機の設置 浦幌町：防災拠点となる公共施設内の防災備蓄品の充実	音更町：指定避難所の防災機能強化（マンホールトイレ整備、備蓄倉庫設置、冷房設備、発電機等備蓄品整備） 土幌町：公共施設の防災機能の強化（役場庁舎の地下電気室の地上への移設） 上士幌町：公共施設の防災機能の強化（役場庁舎耐震改修事業及び公共施設マイクログリット事業の推進） 鹿追町：公共施設の防災機能の強化（ 集会所への冷房設備の整備 ） 新得町：公共施設の防災機能の強化（役場庁舎建替 R6.9.30竣工、R7.1.6業務開始、 非常用発電機 ・トイレ設備の普及も使用可） 芽室町：農村地区避難所の公衆無線LAN整備（1箇所） 中札内村：避難所となる公共施設用の暖房機器等備品整備実施 更別村：避難所となる公共施設用の発電機の設置 池田町：避難所となる公共施設用の発電機の設置 浦幌町：防災拠点となる公共施設内の防災備蓄品の充実
インフラDX等における新技術の活用	令和5年度 から実施	帯広開発建設部	国：SMART-GrassやAI/Eye Riverを活用した維持管理	国：遠隔除草の実施	国：遠隔除草の実施
4. グリーンインフラの取組					
自然環境の保全・創出などの自然再生	令和6年度 から実施	帯広開発建設部	国：自然再生にむけた調査・検討を実施	国：自然再生にむけた調査・検討を実施	国：自然再生にむけた調査・検討を実施、 実施工に着手